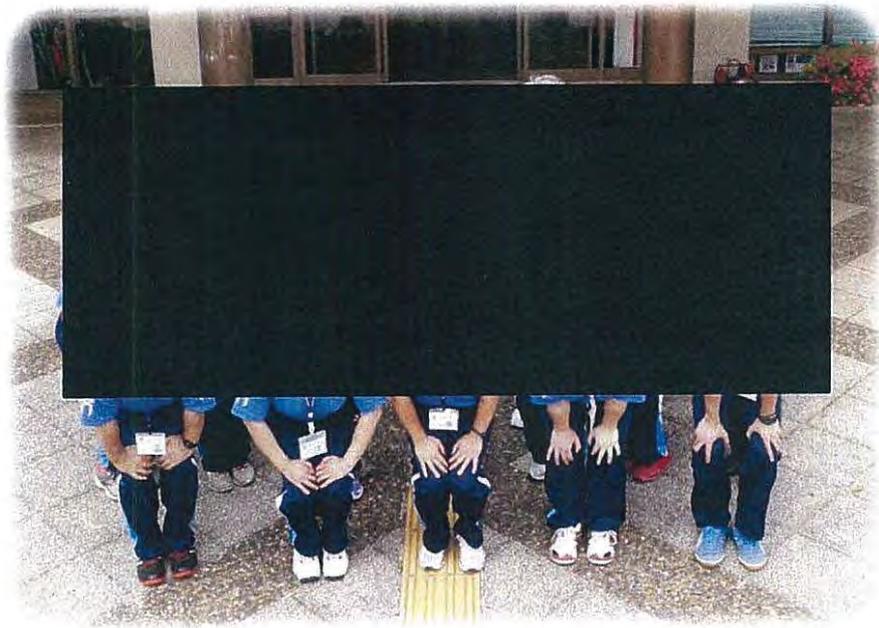


# 横浜市金沢スポーツセンター

## 第3期指定管理者 提案書





<b>目次</b>	
<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
ごあいさつ ～スポーツで元気な横浜を～.....	1
私たちの実績 ～第2期指定管理者としての成果～.....	2
第3期指定管理に向けた決意.....	4
<b>1 安定的な経営姿勢・運営実施体制について（様式8）</b> .....	<b>5</b>
(1) 施設の管理運営の基本方針.....	5
(2) 基本方針を実施するための目標及び実施策.....	9
(3) 金沢スポーツセンターの管理運営体制.....	12
(4) 指定管理に取り組む体育協会のご紹介.....	12
(5) 体育協会の経営姿勢.....	13
(6) 安定的な経営体力と適正な経営情報開示（経営の透明性）.....	14
<b>2 施設の平等・公平な利用の確保（様式9）</b> .....	<b>20</b>
(1) 誰もが平等に利用できる仕組みづくり.....	20
(2) 誰にでもやさしい施設を目指して.....	23
<b>3 コンプライアンス（様式10）</b> .....	<b>26</b>
(1) コンプライアンスの基本的な考え方.....	26
(2) 適切な情報管理体制.....	26
(3) 適正な経理処理と業務監査体制の充実.....	28
(4) 指定管理者としての関係法令・条例の遵守.....	28
(5) 社会の持続可能な発展に貢献.....	31
<b>4 施設の効用の最大限発揮（様式11）</b> .....	<b>32</b>
(1) 金沢スポーツセンターの施設価値を高める新たな取組.....	32
(2) お客様本位のサービス提供.....	36
(3) 貸切、個人のお客様へのきめ細かい支援策.....	38
(4) 健康な区民を増やすための広報と利用拡大策.....	43
(5) 金沢区民の心身の健康に資する教室事業の展開.....	49
(6) 自主事業について.....	56
(7) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組.....	57
(8) 安心・安全で実行力ある業務履行体制.....	59
<b>5 管理運営経費（様式12）</b> .....	<b>64</b>
(1) 効率的な管理運営.....	64
(2) 事業予算の計画.....	69
(3) 適切な業務委託・調達・雇用の取組.....	75
<b>6 施設管理（様式13）</b> .....	<b>78</b>
(1) 安全で効率的なメンテナンス体制.....	78
(2) 清潔な施設環境を保つ清掃計画.....	80

(3) 美観を保つ外構・植栽計画.....	81
(4) 仕様書を上回る施設点検計画.....	82
(5) 環境未来都市・金沢区にふさわしい維持管理手法.....	83
<b>7 安全管理（様式14）.....</b>	<b>85</b>
(1) 安全・安心にご利用いただける平常時の体制.....	85
(2) 緊急時に即応した危機管理体制の構築.....	90
(3) 災害・事故等が発生した場合の賠償保険.....	96
<b>8 地域との協力（様式15）.....</b>	<b>97</b>
(1) 地域支援に関する取組.....	97
(2) 地域連携に対する取組.....	102
(3) 地域貢献に対する取組.....	109
<b>9 モニタリング（様式16）.....</b>	<b>115</b>
(1) 目標達成及び業務水準向上のための仕組み.....	115
(2) 自己評価（セルフモニタリング）.....	117
(3) 第三者評価.....	120
<b>10 金沢区を元気にする横浜市体育協会（様式17）.....</b>	<b>121</b>
(1) 重ねて記載する重要な事項.....	121
(2) 横浜市体育協会の事業紹介.....	121
(3) 他都市の関係機関との連携体制の構築.....	124
(4) 横浜から元気を届ける当体育協会の社会貢献.....	124
(5) 多くの市民・企業からの支援.....	124
<b>11 収支計画について（様式18、様式19～23）.....</b>	<b>125</b>
(1) 収支計画の総括表.....	125



## ごあいさつ ～スポーツで元気な横浜を～

このたび、横浜市金沢スポーツセンターの指定管理者に申請しました公益財団法人横浜市体育協会でございます。

私たち体育協会は、昭和4年の設立以来86年間、生涯スポーツから競技スポーツまで、幅広くスポーツの振興を図ってまいりました。

私たちは、「いつまでもスポーツが楽しめる明るく豊かな社会の実現」という理念のもと、横浜市の施策と連携しながら、スポーツの普及・振興、市民の健康づくりに寄与することを第一の使命とし、競技団体や地域の皆様と連携して各種事業に取り組んでいます。



その成果の一つとして、「スポーツ大会や教室事業等の参加者と施設利用者の合計を1,000万人以上にする」という目標を達成し、横浜市との協約を果たしています。

また、「横浜マラソン2015」や、過去6回開催した「世界トライアスロンシリーズ横浜大会」、「神奈川スケートリンクの再整備」など、横浜市の施策にも大きく貢献しています。

さて、金沢区は「地域の皆様と共に考える、挑戦する、つくる！」を基軸とし、「地域、企業、大学などと連携協力した地域の活性化」「身近な場での子育て支援の充実」「誰もが健康で生きがいを実感できる地域づくり」「防災力・災害対応力アップ」などの施策に取り組んでいます。私たちは、自らの強みである、長年培った施設運営のノウハウと地域の皆様との連携・協働によって構築した総合力を十分に活かし、金沢区の行政施策の推進に寄与していきます。

私たちは、自らの強みである、長年培った施設運営のノウハウと地域の皆様との連携・協働によって構築した総合力を十分に活かし、その期待に応えていきます。

後述します、管理運営の目標と実施策は、第3期金沢スポーツセンターの目指す姿を具現化するためにお示しした、私たちのお約束です。

私たちは、金沢区のスポーツ振興の担い手として、区民が主役となり、生涯にわたってスポーツを「する・観る・支える」ことを楽しめるような環境づくりをすすめ、スポーツで元気な横浜を築いていきます。

また、公益財団法人としての社会的責任を十分に認識し、金沢区の最良のパートナーとして区民から信頼され、期待される団体を目指し、30年以上の施設管理の実績と経験を活かして全力で金沢スポーツセンターの管理運営に取り組むことをお約束いたします。

平成27年7月

公益財団法人横浜市体育協会

会長 山口 宏

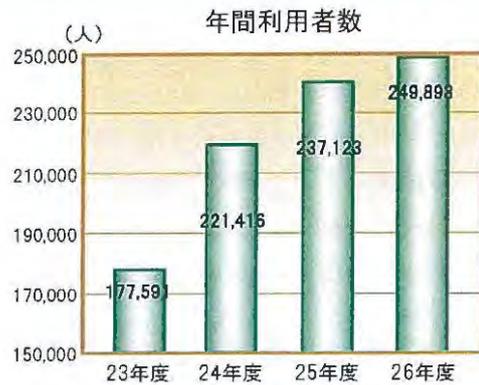
## 私たちの実績 ～第2期指定管理者としての成果～

私たちは、現指定管理者として、安全・安心・快適な空間の確保とコスト削減、社会の変化や市民ニーズの多様化に対応した高品位なサービス提供を実行し、施設の価値を高めてきました。これからも現状に満足せず、おもてなしの心と改革の精神で第3期指定管理に臨みます。

### 第2期指定管理の成果

当体育協会は、現指定管理者として、事故ゼロを継続していることはもとより、バランスのとれた利用を実現し、創意工夫を重ねてまいりました。その結果、総利用人数は、平成23年の177,591人から平成26年度には、249,893人へと増加しました。

また、第2期指定管理では、トレーニング室のリニューアルやポイントカードの実施など、新たな場と機会の提供や地域と連携したスポーツ事業など、創意工夫による事業を展開してきました。



#### ■第2期指定管理期間に新たに実施し主な取組

内 容	成 果
健康増進施設の認定	スポーツセンター初
指定運動療法施設の指定	スポーツセンター初
トレーニングマシンのリニューアル	利用者数 120%増(対前年度比)
ランニング・ウォーキングステーションの開設	利用者数 32人
ポイントカードサービス(継続的な運動促進)	利用者数 530人
開館時間の拡大(年末年始開館)	利用者数 441人
クレジットカード決済(教室参加料)の導入	H26年度利用者数 379人
第1・第2体育室の床ウレタン塗装	靴底跡のマークなどがなくなり、床面の環境美化が整いました。
第1・第2体育室バスケットボールコートラインの変更	ルール改正に伴う対応ができました。



トレーニングマシンのリニューアル



体育室のウレタン塗装



ポイントカードサービス  
(継続的な運動の促進)

## 地域への健康づくりサポートの充実

金沢区では、誰もが健康で生きがいを感じられる地域を実現するため、地域における健康づくりの取組を推進しています。

金沢スポーツセンターでは、地域からのご要望に沿って、職員や人材活用システムに登録している地域人材が地域へ出向き、健康づくりに関する講話や運動指導を行うなど、地域の健康づくり活動を支援しています。

今後も社会問題となっている高齢社会を見据え、金沢区の健康づくりのサポーターとして、積極的に地域の健康づくりを担っていきます。

### ■平成 26 年度実績

参加者数	内容
1,321人	ディケアサービス通所者(泥亀ケアプラザ)年12回、能見台健康づくりの会(能見台ケアプラザ)年12回、さくら茶屋・ほっとサロン主催「健康体操」(西柴団地自治会館)年10回、さくら並木の会(オフィス金沢)年4回、「るんるんヘルスUP」(西柴町内会館)年10回、健康づくりの会(高舟台自治会館)1回、ふれあいサロン(第二住宅集会所)1回、あすなる会・難病交流会(金沢区役所)1回、はまべの会・精神障がい者の活動(金沢区役所)1回、金沢区手話サークル「橋の会」(いきいきセンター)1回 他

## 第2期提案事項の達成状況

提案事項の達成状況については、月次執行会議及び四半期毎に事業評価会を実施しており、PDCAサイクルに基づいて進捗管理を行っています。第2期の進捗状況として99%（138項目中137項目）の達成率となっています。

### ■未達成提案事項の対応

現時点では未達成ですが、年度内に達成に向けて粘り強く取り組みます。



未達成事項	対応状況と理由
グッズ販売会等の実施	お客様ニーズに合わせた内容とコスト面について調整が必要なため、実施に向けて調整中です。

## お客様満足度

平成 26 年度満足度調査の結果では、全体的な満足度において、「満足」、「やや満足」は93%となっています。特にスタッフの接遇については、常時高い満足度となっています。

また、金沢スポーツセンターの公正・公平な利用環境は堅持しており、その種のクレームは頂いたことはありません。残り約7%の方にもご満足いただけるよう、改善活動を続けていきます。



## 第三者評価

平成 25 年 2 月に実施された、第三者評価機関において、業務水準・目標水準を達成できていることから良好な評価をいただきました。

評価項目	評価機関のコメント(抜粋)
地域及び地域住民との連携	金沢区さわやかスポーツ普及委員会や総合型地域スポーツクラブとの連携、中学校や高校の職業体験の受入れ、地域との連携も積極的に行われています。
利用者サービスの向上	仕事帰りの方への利用促進として開館時間の拡大、託児所付教室の開催、区の高齢化率を考慮して高齢者向けの教室の充実を図っています。
施設・設備の維持管理	施設内は衛生的に保たれ清掃点検チェックを行っています。グリーンカーテンの整備や花壇を利用したチューリップ栽培などを行い、外構美化に努めています。
緊急時対応	施設の防犯は警備会社による深夜巡回を行い、他施設の所長とも事故報告の情報共有をしています。緊急時や設備不具合発生時対応も整備を行っています。
組織運営及び体制	充実した研修計画に則り研修を行い、その内容は全職員に共有しているとともに、AED研修など参加しやすい環境が整備されています。毎日危機管理責任者を定めています。
その他	施設広報は新聞折込みや地域関係施設へ配布など情報発信を行っています。ボランティア団体交流スペース「オフィスかなざわ」の利用団体と協働しています。



情報コーナー



AED研修

金沢区民活動拠点  
「オフィスかなざわ」

## 第3期指定管理に向けた決意

私たち体育協会は、これまでの管理運営において、当体育協会ならではの先進的な独自のアイデアで施設の価値を高めてまいりました。第3期指定管理においても、施設の役割と特性、行政施策や課題を踏まえ、「区民・お客様」「行政」「指定管理者」の3つの視点から、金沢区全体にスポーツと健康づくりを推進し、区民のいきいきとした暮らしを実現していきます。また、これまで



培ってきたノウハウや自治会町内会、スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市医師会、区体育協会、加盟競技団体等などのネットワーク、当体育協会が管理運営する施設や近隣施設、大学等との連携など、組織をフル活用して第3期の指定管理に臨みます。



## 1 安定的な経営姿勢・運営実施体制について(様式8)

### (1) 施設の管理運営の基本方針

私たちは、公共サービスの提供者として、新行政手法(NPM)や公民協働(PPP)に関する研究を行い、指定管理者制度導入の趣旨・目的をしっかりと理解した上で、金沢スポーツセンターの理念と運営の基本方針に則り、管理運営に取り組みます。

#### ア 施設の設置目的や役割の理解

金沢スポーツセンターは、「横浜市金沢スポーツセンター第3期指定管理者公募要項及び業務の基準」に示されているとおり、横浜市スポーツ推進計画を踏まえた、子どもから高齢者の健康体力づくりの実施や各種スポーツ大会等の開催場所として、横浜市スポーツ施設条例に基づき整備されています。

金沢スポーツセンターには、スポーツ実施率の向上を図る取り組みとして、スポーツにあまり関心のない区民を対象とした、スポーツに親しむきっかけとなる事業の実施や、地域のスポーツ団体等の活動を促進するための支援が求められています。

私たちは、金沢スポーツセンターを地域におけるスポーツ振興の拠点として、これらの取り組みを行うことで、地域住民の相互交流や青少年の健全育成等の課題を解決し、地域社会のきずなづくり、コミュニティ形成に寄与できると考えています。

金沢スポーツセンターの運営にあたっては、区や地域団体等と連携し、安心・安全な施設環境に配慮しながら、当体育協会のこれまでのノウハウを十分に生かし、区のスポーツ振興の発展に資する運営を行います。

#### イ 金沢区の地域特性の理解

私たちは、金沢区にふさわしいスポーツセンターとして、金沢区の地域特性と周辺環境を踏まえ、当体育協会ならではの創意工夫を加え、管理運営に取り組みます。

##### (ア) 金沢区の環境と人口特性

金沢区は、横浜市の南端に位置し、横須賀市、逗子市、鎌倉市、栄区、磯子区に面しており、周囲を海と山に囲まれています。区の大部分は起伏の激しい丘陵地となっており、また、野島公園や海の公園、八景島など、豊かな自然に恵まれています。

平成27年4月1日現在の人口は、202,646人で市内18区中10位です。平均年齢は46.3歳で市内18区中6位、15歳未満の割合は12.1%で市内11位、65歳以上の割合は26.1%で市内6位となっています。

### (イ) 金沢シーサイドタウン地区の特性

金沢スポーツセンターが所在する金沢シーサイドタウン地区の高齢化率は、横浜市平均よりも上回っており、金沢区の中でも高い数値です。高齢化率の上昇スピードは横浜市や金沢区全体を大きく上回り、急速に高齢化が進んでいます。生涯住み続けたいと思う街として、異世代交流、子育て支援、スポーツイベントの実施などに力を入れています。

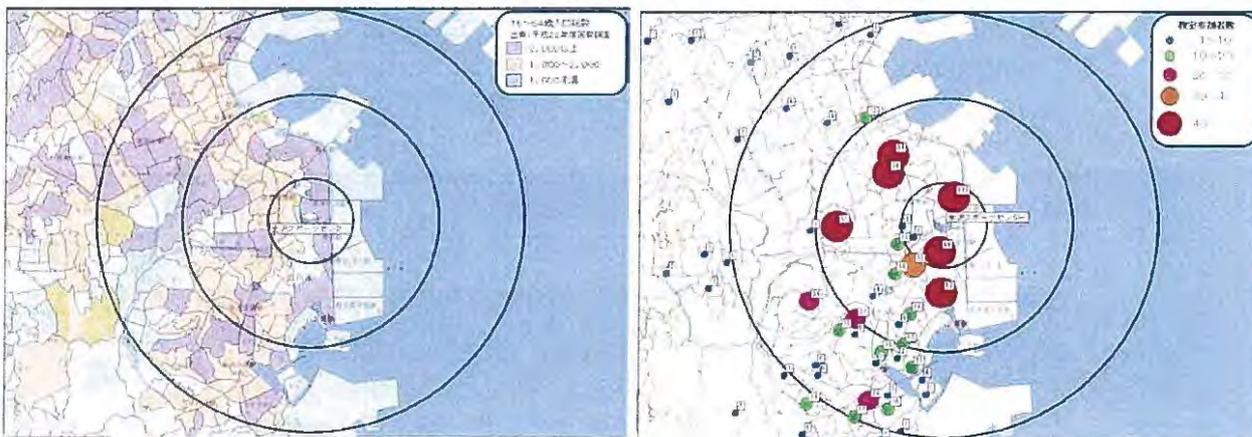
### (ウ) 周辺の人口特性やお客様の利用傾向

図1・表1は、金沢スポーツセンターを中心に、1km・3km・5kmの円で人口構成を分析したものです。通常、スポーツ施設への来館者は、半径3km以内(メイン商圏)に居住する人が70%を占めていると言われています。

3km圏内の人口構成を見ると、「①30歳代・40歳代・60歳代が中心ですが、全世代が平均的に居住している。」「②10歳代・50歳代・60歳代の割合が比較的高い(横浜市比較)。」ことが分かり、これらのことから、当館の教室事業では、乳幼児から高齢者まで全世代に対応した教室を実施しています。

図2は、当館の教室事業に参加している方(1,011人)の居住地を分析したものです。約7割の方が3km圏内から来館しています。徒歩や自転車、公共機関の利用では、京浜急行、シーサイドライン沿線やバスの運行経路となっている地域からの来館者が多い傾向となっています。

第3期指定管理も引き続き、これらの商圏分析データを活用し、人口構成や年齢分布、お客様の利用傾向に合致した広報や教室の実施、当体育協会のノウハウを生かした健康づくりプログラムの拡充により更なる賑わい(集客)を創出します。



商圏内人口	金沢スポーツセンター						比較基準 横浜市	
	1km圏内		3km圏内		5km圏内		人数	比率
人口	23,449	—	137,114	—	314,591	—	3,688,773	—
10歳未満	1,612	6.87%	11,188	8.16%	25,653	8.15%	319,180	8.65%
10歳代	1,946	8.30%	13,092	9.55%	28,553	9.08%	335,244	9.09%
20歳代	2,716	11.58%	15,390	11.22%	34,909	11.10%	422,505	11.45%
30歳代	3,258	13.89%	19,233	14.03%	45,195	14.37%	582,497	15.79%
40歳代	2,798	11.93%	19,675	14.35%	44,164	14.04%	565,410	15.33%
50歳代	3,442	14.68%	18,148	13.24%	39,481	12.55%	436,811	11.84%
60歳代	4,599	19.61%	20,495	14.95%	47,571	15.12%	490,298	13.29%
70歳代	2,149	9.16%	12,920	9.42%	32,043	10.19%	332,765	9.02%
80歳以上	930	3.96%	6,974	5.09%	17,020	5.41%	204,063	5.53%

## ■第3期指定管理の目標人数

平成 26 年度の実績値 249,893 人を基準とし、以降毎年漸増させ、平成 31 年度は 277,851 人を目標とします。

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
275,214	276,093	276,970	277,851	192,824

※平成 32 年度は吊天井工事の影響を見込んで計算しています。

## ウ 行政課題及び施策の理解

私たちは、金沢区のスポーツ振興のための事業を行うにあたり、スポーツ推進計画、健康福祉関連計画、金沢区運営方針等から、行政課題や施策を理解し、その施策と連動した施設の運営や事業を実施します。



## エ 共創や協働の考え方の理解

当体育協会は、新しい公共を「共に創る（共創）」金沢区のパートナーとして、社会的課題の解決を目指し、金沢区役所との対話により連携を進め、相互の知恵とノウハウを結集した取組を協働して行うことで、新たな区民サービス（価値）の創出や地域の活性化を図っていきます。

## オ 金沢スポーツセンターの管理運営のコンセプト

第3期  
指定管理  
コンセプト

金沢区にスポーツの普及と健康づくりを推進し、  
区民のいきいきとした暮らしを実現するスポーツセンター

私たちはこのコンセプトのもと、横浜市金沢スポーツセンターの指定管理に臨みます。

金沢スポーツセンターは、金沢区運営方針の「誰もが健康で生きがいを感じられる地域の実現」の施策を受け、子どもたちが地域の中で健やかに育ち、誰もがいきいきとした暮らしと地域のつながりを広げ、生きがいを感じられるよう健康づくりに取り組んでいく必要があると考えています。金沢区のスポーツ・健康づくりの拠点として、施設運営の発展・向上に取り組むことはもちろんのこと、金沢区全域で地域の皆様と協力・連携したスポーツ振興事業等を実施し、区民のいきいきとした暮らしの実現に挑戦します。

## カ 行政課題及び施策に基づいた施設の基本方針

### (ア) 私たちが取り組むべき課題

私たちは、金沢区運営方針や行政課題、施設の設置目的と理念、特徴、取り巻く環境、お客様からのご意見や第三者評価、外部評価等でのご指摘、現指定管理者としての経験から 10 の取り組むべき課題があると捉えています。この課題に対し、後述します基本方針に則って解決し、皆様の期待に応えていきます。

取 組 む べ き 課 題	
1	健康づくりに資する事業の拡充
2	指定運動療法施設として運動療法プログラムの拡充
3	子育て支援や児童等の健全育成への取組
4	金沢区の行政施策を理解し関連事業等における協働・協力
5	適正なメンテナンスの実施
6	環境保全活動への取組
7	安全・安心な施設運営
8	施設の空きスペース等の有効活用
9	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催機運の醸成
10	重層的なセルフモニタリング

### (イ) 管理運営の基本方針

私たち体育協会は、第3期指定管理を臨むにあたり、施設の設置目的と理念、特徴、取り巻く環境、行政施策などを踏まえ、「区民・お客様」「金沢区」「指定管理者」の3つの視点から金沢スポーツセンター管理運営の5つの基本方針を策定しました。

	お客様の視点	金沢区の視点	指定管理者の視点
管理運営 の 基本方針			1 金沢区のスポーツ・健康づくりの拠点として施設の価値を高めます
			2 地域と協力・連携したスポーツ振興を推進します。
			3 誰もが健康で生きがいを感じられる地域の実現に貢献します
			4 環境保護に配慮した安全・安心・快適な施設運営をします
			5 社会的責任活動に積極的に取り組みます

## (2) 基本方針を実施するための目標及び実施策

金沢スポーツセンターの基本方針を踏まえ、先に記述した課題を解決するため、明確で具体的な10の目標と実施策を掲げ、実行することを約束（コミットメント）します。また、PDCAマネジメントサイクルに沿って、改善に繋げる仕組みを整え、施設の管理運営の質の向上および継続的な業務改善活動を実践していきます。



### 目標 1

スポーツ教室や近隣施設と連携した事業など、市民の健康づくりに資する事業を年間2,000回以上実施します。

#### アクションプラン

- スポーツ推進委員連絡協議会・青少年指導員連絡協議会等の地域団体と連携した事業を実施 **継続**
- 妊婦、赤ちゃん、お年寄り、障がいのある人などあらゆる人を対象とした各種スポーツ・健康づくり教室を開催 **拡充**
- お客様を対象とした還元イベントの開催 **継続**
- 商店街や区民利用施設と連携した事業を実施 **新規**
- 姿勢改善教室の実施 **新規**



お客様還元イベント  
 スポーツ・レクリエーションフェスティバル  
 「ヨーガ体験」

### 目標 2

疾病改善のための内科系運動療法と整形外科系運動療法を実施します。

#### アクションプラン

- 横浜市医師会と健康づくり事業を実施 **拡充**
- スポーツ医科学センターと連携し健康づくり事業や内科系・整形外科系運動療法事業を実施 **新規**



肩腰膝痛改善予防教室

### 目標 3

子育て支援や児童等の健全育成に取り組めます。

#### アクションプラン

- 子育て世代を応援するための託児サービス付きスポーツ教室を実施 **拡充**
- 子どもが安心して過ごせる「居場所」づくりとして、ロビースペースを開放 **新規**
- ハートフルルームやハートフルスペース等のスポーツ活動時に指導者を派遣 **新規**
- 保育園や小学校等で子どもの体力向上に資する事業や子どもの運動苦手克服教室の実施 **継続**
- 金沢区の全中学校の職業体験の受入 **拡充**



子どもの運動苦手克服教室

目標 4

金沢区の運営方針と連動した事業を実施します。

アクションプラン

- 地域と連携した防災フェスティバルの実施 **新規**
- 保健活動推進員と連携したウォーキング事業の実施 **新規**
- 自治会町内会など、地域が取組む高齢者対象事業に指導者を派遣 **拡充**
- 介護予防、生活習慣予防、認知症予防等の予防改善教室を実施 **拡充**
- 地域住民を対象とした多世代交流イベントを開催 **新規**



地域が取組む健康づくり事業「るるんヘルスアップ」

目標 5

日常点検を1日6回以上、予防保全を主とした修繕を年間350万円以上実施します。

アクションプラン

- 職員による1日6回以上の日常清掃・点検の実施 **継続**
- 公共施設管理に長けた協力企業との連携と、24時間監視体制の構築 **新規**
- 備品台帳による適正な備品管理の実施 **継続**
- 施設設備等の劣化診断に基づく修繕計画の作成 **新規**
- 年間350万円以上の予防保全を主とした修繕実施 **拡充**



スタッフによる日常清掃・点検

目標 6

体育室の照明をLED化するなど、コスト縮減と環境保護を進めます。

アクションプラン

- 低炭素社会の実現に向け体育室の照明をLEDに更新 **新規**
- 競争入札による電力調達を実施 **新規**
- グリーン電力を購入するなどカーボンオフセットを実施 **拡充**
- 「ヨコハマ3R夢プラン」の取組として、スポーツグッズのリユースを推進 **新規**



グリーン電力証書

目標 7

危機管理体制を徹底し、常時、安心な管理体制を徹底します。

アクションプラン

- 全スタッフを対象としたAED操作方法の徹底 **拡充**
- 応急手当有資格者の常駐 **拡充**
- 危機管理マニュアルに沿った危機管理担当者の配置 **新規**
- 自衛消防、防犯組織の整備及び防災訓練への参加 **継続**
- 災害発生時の避難所対応(防災管理者の設置) **継続**



消防署と連携した防災訓練

目標 8

施設内空きスペースや営業時間外を活用した、新たな利用サービスを創出します。

アクションプラン

- トレーニングできる場所の拡大 **新規**
- 子育て世代を応援するため託児室を設置 **新規**
- 中庭を有効に活用した朝ラジオ体操の実施 **新規**
- 年末年始、開館時間の拡大 **拡充**
- スポーツ用品等のショップを設置 **新規**



中庭でラジオ体操の実施

目標 9

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会応援企画を年間4回以上実施します。

アクションプラン

- 2020年オリンピック・パラリンピック啓発のためのコラムや展示、カウントダウンボード等の掲示 **新規**
- オリンピック・パラリンピック選手を招聘した事業を実施 **新規**
- 障がい者とのスポーツ交流事業を実施 **新規**
- パラリンピック競技体験イベントを実施 **新規**



世界トライアスロンイベントでのオリンピック招致活動

目標 10

お客様や第三者による意見等を反映させ、満足度を高める取組をします(100点中平均80点以上)。

アクションプラン

- お客様アンケートを実施し、お客様の声を運営に反映 **継続**
- サービス介助士やコンシェルジュ(総合案内係)を配置 **拡充**
- 第三者評価を受審し、評価を総括し運営に反映 **継続**
- 地域の方々やお客様とのオープンミーティングを実施 **拡充**
- ウォーキング関連有資格者を配置 **新規**



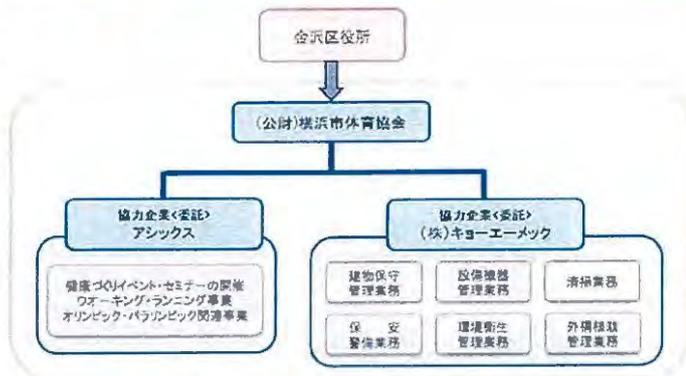
地域の方々とのオープンミーティング

5カ年実施計画

年度	年度方針	主な取組
28年度 (2016)	新たな場と機会の創出。	・多世代を対象とした事業の展開 ・施設内照明の改修 ・施設設備等劣化診断の実施
29年度 (2017)	安心・安全・快適な環境づくり。	・更衣室、トイレの一部改修 ・トレーニング室の拡大と託児室の設置
30年度 (2018)	提案内容を総括し、健康づくり事業の拡充を図る。	・区制 70 周年イベントの開催 ・介護予防、運動療法事業等の拡充
31年度 (2019)	最終年度に向けた課題の整理と解決を実施。	・健康づくり事業の拡充 ・将来を見据えた事業・修繕計画の策定
32年度 (2020)	区民ニーズや区内情勢を捉え、次期に向けた新たな事業モデルを実施し将来を見据えた施設運営。	・新規モデル事業の実施 ・開館 35 周年イベントの開催 ・オリンピック・パラリンピック大会企画の実施

### (3) 金沢スポーツセンターの管理運営体制

私たちは、今まで単独で金沢スポーツセンターの管理運営を行ってききましたが、今後も施設設備老朽化の進行や健康づくりに関する区民ニーズに的確に対応していくために、当該分野を得意とするアシックス・ジャパン株式会社と株式会社キョーエーメックの協力を得て、グレードアップした新体制で臨みます。



アシックスは、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の国内最高位スポンサーであり、世界有数の総合スポーツ用品メーカーとして、高品質のスポーツシューズ等の製造販売を行っているほか、ランニングやウォーキングなどの啓発イベントを企画し、スポーツの普及振興に大いに貢献している企業です。区民の健康づくりを促進していくにあたり、オリンピック・パラリンピック関連事業やウォーキング・ランニングのイベントやセミナー等の事業を協力して展開します。

また、キョーエーメックは、スポーツ施設や百貨店、ホテル、銀行等数多くの施設の設備維持管理業務を請け負っており、その管理ノウハウや実行性に大変定評があります。ファシリティ・マネジメント (FM) 体制を構築し、施設・設備のデータを活用した長寿命化や LCC (ライフサイクルコスト) 縮減などのメリットを創出していきます。

当体育協会と当該協力企業が連携することで、今まで以上の最適な施設の管理運営体制を構築します。

### (4) 指定管理に取り組む体育協会のご紹介

私たちは、公益目的事業を行うことを主たる目的とした、公益財団法人です。昭和4年(1929年)に横浜体育協会(野球・庭球・山岳)として発足し、昭和初期から今日に至るまで横浜のスポーツ振興に寄与してきました。

現在、各種施設運営(40施設)やスポーツ事業など、スポーツ振興事業を実施しており、74の団体(52の種目別競技団体、18の区体育協会、3の学校体育団体、1の体育団体)が加盟しています。この強力なスポーツネットワークの相互連携に基づいて区民の健康・体力づくり、競技スポーツの推進に大きく貢献しています。

■ 競技団体 (52団体)		平成 27 年 4 月現在
1 横浜市ハドミントン協会	2 NPO 法人横浜市馬術協会	3 横浜バスケットボール協会
4 横浜ハレボール協会	5 横浜ハンドボール協会	6 横浜市ホッケー協会
7 横浜市陸上競技協会	8 横浜市ヨット連盟	9 横浜市卓球協会
10 横浜市体操協会	11 横浜市ソフトボール協会	12 横浜野球協会
13 横浜野球連盟	14 横浜市ラグビーフットボール協会	15 横浜市剣道連盟
16 横浜市テニス協会	17 NPO 法人横浜ソフトテニス協会	18 横浜市弓道協会
19 一般社団法人横浜サッカー協会	20 横浜市柔道協会	21 一般社団法人横浜水泳協会
22 横浜市相撲連盟	23 横浜市山岳協会	24 横浜スキ協会

25 横浜市アマチュアボクシング協会	26 横浜市クレー射撃協会	27 横浜市レスリング協会
28 横浜市ウエイトリフティング協会	29 横浜市なぎなた連盟	30 横浜市アーチェリー協会
31 横浜市ライフル射撃協会	32 横浜市ボウリング協会	33 横浜市空手道連盟
34 横浜アフリカンフットボール協会	35 横浜市カヌー協会	36 NPO 法人横浜市ボート協会
37 横浜市太極拳協会	38 横浜市ゲートボール連合	39 横浜市少林寺拳法連盟
40 横浜市ゴルフ協会	41 横浜アイスホッケー連盟	42 横浜市インディアカ協会
43 横浜市綱引連盟	44 横浜市スポーツダンス協会	45 横浜市合気道連盟
46 横浜市スポーツチャンバラ協会	47 横浜市日本拳法連盟	48 横浜市バトン協会
49 横浜市トリアスロン協会	50 横浜市パワーリフティング協会	51 横浜市グラウンドゴルフ協会
52 横浜市ターゲット・バードゴルフ協会		
■ 地域団体 (18団体)		
1 鶴見区体育協会	2 保土ヶ谷区体育協会	3 青葉区体育協会
4 神奈川区体育協会	5 旭区体育協会	6 都筑区体育協会
7 西区体育協会	8 磯子区体育協会	9 戸塚区体育協会
10 中区体育協会	11 金沢区体育協会	12 栄区体育協会
13 南区体育協会	14 港北区体育協会	15 泉区体育協会
16 港南区体育協会	17 緑区体育協会	18 瀬谷区体育協会
■ 学校団体 (3団体)		
1 横浜市立小学校体育研究会	2 横浜市立中学校体育連盟	3 横浜地区高等学校体育連盟
■ 体育団体 (1団体)		
1 横浜市レクリエーション連合		

私たちの行動の原点はスポーツ振興のためであるという考えのもと、全ての皆様に、信頼され好感を持っていただけるよう職員行動指針を定めています。この行動指針にもある通り、着実にチャレンジする風土は、「2002FIFA ワールドカップ™」や「H.I.S.世界卓球 2009 横浜」「世界トリアスロンシリーズ横浜大会」等の大規模な国際大会やフルマラソンとして平成 27 年 3 月 15 日に開催された「横浜マラソン 2015」を成功に導きました。

#### 公益財団法人横浜市体育協会 職員行動指針

##### 基本理念

「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」

「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 1. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 2. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 3. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 4. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 5. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 6. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 7. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 8. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 9. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 10. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 11. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 12. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 13. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 14. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 15. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 16. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 17. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 18. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 19. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 20. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 21. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 22. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 23. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 24. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 25. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 26. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 27. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 28. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 29. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 30. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 31. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 32. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 33. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 34. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 35. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 36. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 37. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 38. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 39. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 40. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 41. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 42. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 43. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 44. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 45. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 46. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 47. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 48. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 49. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 50. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 51. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 52. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 53. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 54. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 55. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 56. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 57. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 58. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 59. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 60. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 61. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 62. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 63. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 64. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 65. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 66. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 67. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 68. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 69. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 70. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 71. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 72. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 73. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 74. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 75. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 76. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 77. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 78. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 79. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 80. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 81. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 82. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 83. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 84. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 85. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 86. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 87. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 88. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 89. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 90. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 91. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 92. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 93. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 94. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 95. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 96. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 97. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 98. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 99. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」  
 100. 「いつまでもスポーツが楽しめる、明るく豊かな社会の実現」

- 正直に、誠実に、行動します
- 安全・安心を第一に考えます
- 清潔で快適な環境づくりを徹底します
- 無駄をなくし、時間とお金を有効に使います
- 自分の行動に責任をもち、粘り強く結果を出します
- 常に学び、チャレンジし、成長し続けます

## (5) 体育協会の経営姿勢

### ア 公共サービスを担う者の心得

公の施設の管理者は、地方自治法 244 条に則り、住民福祉の増進や公正・公平な利用の確保など、その趣旨を理解して管理運営しなければなりません。

また、金沢区運営方針、横浜市スポーツ施設条例及び横浜市スポーツ推進計画などの趣旨を理解し、遵守することは当然の責務です。私たちは、業績・成果志向などの民間手法も取り入れ、その役割と責務を果たし、金沢区の施策の実現に向けて誇りを持って誠実に行動します。



職員一同誠意をもって対応いたします

## 指定管理者が遵守する法令等

私たちは公益法人として、また指定管理者として、ふさわしい倫理を保持し法令や条例を遵守した管理運営を行うことは当然のことです。特に、「個人情報保護」、「適正な労務環境の堅持」、「建物・設備の維持管理」、「社会の持続可能性」については重要であり、その趣旨を十分に理解したうえで、管理運営にあたります。



平成 26 年度コンプライアンス研修

私たちは、その重要さをしっかり認識するため、職員研修を充実させるとともに、委託業者・外部講師など施設に係る全ての人にその浸透を図ります。

### 指定管理者が遵守すべき主な法律・条例・方針・計画・マニュアル等

金沢区運営方針／金沢区地域福祉保健計画／都市計画マスタープラン／金沢区プラン  
 スポーツ基本法／横浜市スポーツ推進計画／横浜市スポーツ施設条例(同条例施行規則)  
 横浜市基本構想長期ビジョン／横浜市中期4か年計画 2014～2017／指定管理者ガイドライン  
 健康増進法／第2期健康横浜21／第6期横浜市高齢者保健福祉計画／介護保険事業計画  
 地方自治法／公共サービス基本法／横浜市行政手続条例／横浜市暴力団排除条例  
 横浜市市民協働条例／横浜市市民活動推進条例(同条例施行規則)  
 環境基本法／エネルギーの使用の合理化に関する法律／地球温暖化対策の推進に関する法律  
 横浜市防災計画／災害時等における施設利用に関する協定  
 障害者差別解消法／第3期横浜市障害者プラン／横浜市障害福祉計画  
 横浜市子ども・子育て支援事業計画／横浜市中小企業振興基本条例／横浜市商店街振興基本条例  
 横浜市地域の絆をはぐむ条例／ヨコハマ 3R夢プラン(一般廃棄物処理基本計画)  
 労働基準法／労働組合法／労働安全衛生法／職業安定法／最低賃金法／労働者派遣法  
 育児・介護休業法／男女雇用機会均等法／雇用保険法  
 建築基準法／消防法／電気事業法／水道法／建築物における衛生的環境の確保に関する法律  
 横浜市の保有する情報の公開に関する条例／個人情報の保護に関する法律 等

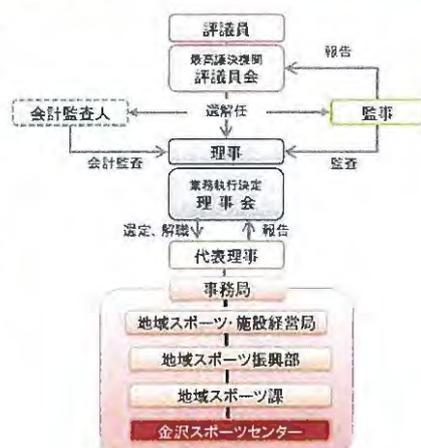
## (6) 安定的な経営体力と適正な経営情報開示(経営の透明性)

### ア 安定的な管理運営が可能な経営体制

スポーツの普及振興を専門とする経験豊富な人材と 30 年にわたる施設管理のノウハウ、強固なスポーツネットワークといった体育協会の強みを活かし、指定管理者制度に順応した体制を整備しています。

### (ア) 30 年の実績とノウハウを持つ組織構成と業務執行体制

当体育協会の組織は、7局 14 部から構成される組織で、総勢 272 人(平成 27 年 6 月 1 日現在)の職員が配置されています。当体育協会の執行責任体制については、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づくガバナンスのもと、「処務規程」により業務執行組織及び事務分掌を規定し、「事務決裁規程」によってその権限を明確にしています。代表理事をトップとした



業務執行体制のもと、当体育協会本部の地域スポーツ課が金沢スポーツセンター事業の進捗や予算執行などを掌理しています。

### （イ）天災等発生時のバックアップ体制

当体育協会では、リスク管理及び危機管理を担う組織として危機管理室を設置し、施設や各種事業をバックアップしています。また、法的なリスク管理や事故による補償及び紛争解決等については、顧問弁護士によって事態に備えています。

天災等の非常時には、金沢スポーツセンターが一定期間（3～4カ月）閉鎖した場合でも耐えうる経営体力（平成26年度末現金及び同等物残高1,271百万）を有し、その人員を他の業務に振り向けるとともに、いざというときには応援体制を組むなど臨機応変な組織対応力を備えています。

顧問弁護士 [redacted] (横浜市中区)

### （ウ）必要な人材の確保と人事考課制度及び表彰制度

当体育協会では「人材こそが最も重要な経営資源＝人財」という考えのもと、知識と経験に裏打ちされた資質と能力を兼ね備える人材の育成に努めています。さらに、持続的にスポーツを推進できるよう、定期的に職員を採用しています。また、組織の活性化と職員のモチベーションを高めるため、職員の日常の実績及び成果が客観的かつ公平・公正に評価できるよう人事考課制度を導入するとともに、顕著な功績をあげた職員に対する表彰制度も確立しています。



人命救助の表彰

### （エ）研修計画

質の高いサービスを提供するために、職場における実務研修（OJT）や外部講習・研修なども含めた体系的な研修教育の仕組みづくりを行っており、職員の業務遂行能力の向上を継続して実施してまいります。また、おもてなしの心によるホスピタリティーの充実を図ることのほか、公共サービスを担う者として、人権擁護や個人情報保護、危機管理など幅広い分野で計画的な研修を実施しています。



個人情報保護研修



### (オ) 公共サービスに精通した職員配置と資格取得制度

当体育協会には、長年公共サービスに従事している経験豊富な職員が多数在職しています。金沢スポーツセンターの所長を任せる職員については、公共スポーツ施設の管理運営を十分に経験してきた職員を配置します。また、公共スポーツ施設の管理運営に活かすことのできる様々な資格の有資格者も多数在職しており、支援体制も万全です。

資格名	人数(人)
健康運動指導士	40
健康運動実践指導者	8
スポーツプログラマー	60
体育施設管理士	36
普通救命講習	41
上級救命講習	59
応急手当普及員	82
サービス介助士	37

当体育協会が指定する指定管理関連資格の取得・更新については、講習会参加時の職務を免除するなどの制度を設け、職員の資質向上ならびに施設運営の質の向上をサポートしています。

### (カ) 金沢スポーツセンターでの職場内研修と自己啓発研修制度

金沢スポーツセンターでは、心肺蘇生法及び AED 操作の実技、ユニバーサルサービスへの取組、人権問題をテーマにした職場内研修を定期的を実施します。

また、職員のパソコンスキルの向上を図る IT 研修や「おもてなしの心」を醸成するための職場内研修を定期的を実施し、職員の業務能力の向上を図ります。

さらに、職員の能力向上や意識改革の推進を図るため、自己啓発研修を推進しています。実施に際しては、職員の職務に専念する義務の特例に関する要綱を定め、必要に応じて通年で半日単位 4 回までの自己啓発のための職免を認めています。



スポーツセンターの接客研修

## イ 健全な財務状況に基づく経営体力

### (ア) 健全な体育協会の財務状況

金融資産については、当体育協会の資産管理運用要綱に基づき、AA 格以上の日本国債、横浜市債、定期預金を基本として、安全性を最優先して運用します。財務状況の安全性を示す指標は、下記のとおりで、高い安全性を維持しています。

#### ■平成 26 年度決算数値

基本財産 122,150 千円

① 総資産対正味財産比率(正味財産/総資産×100)	64.4%
目安が30%以上とされるなか、倍以上の64.4%を示し、返済義務のない安定的な資産で運営しています。	
② 当座比率(流動資産(棚卸資産除く)/流動負債×100)	118.2%
目安が90%以上とされるなか、118.2%となっており、短期的な支払(負債)について十分対応する能力を有しています。	
③ 借入金比率(借入金/総資産×100)	0%
指標は1%以下でありほぼ無借金の経営体質となっています。	
④ 現金及び現金同等物の期末残高	1,271,324千円

当協会は、公益法人会計基準(平成20年度基準)を採用するとともに、外部監査に基づく適正な会計処理体制を確立しております。

## （イ）適正な予算執行と厳格な会計監査の実施

当体育協会では、公益法人会計基準及び横浜市会計経理関係規定等に準じて、各種経理関係規定及び独自の経理事務マニュアルに基づき日常業務を遂行します。

当体育協会本部の経理課と地域スポーツ課によるダブルチェックや公認会計士による外部監査、職員による内部監査などの実施により、経理処理の厳格化を徹底しています。また、金沢スポーツセンターの予算は所管部である地域スポーツ振興部と経理課による執行管理を毎月行っており、予算に対する執行状況を随時確認しています。



公認会計士による会計監査

### ■平成26年度外部監査担当者

監査責任者	■	公認会計士 税理士
監査補助者	■	公認会計士 税理士
監査補助者	■	公認会計士 税理士

## ウ 団体としての情報公開と情報開示

### （ア）公益団体として求められる積極的な情報公開

当体育協会は、公益財団法人として一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の適用を受け、貸借対照表を公告することが義務づけられています。公告方法は法令の範囲内で任意とされていますが、インターネットによる公告を定款で規定し公開しています。また、公益法人の指導監督基準において定められる項目（定款、役員名簿、計画、報告予算、決算等の経営情報）のほか、経営計画や横浜市との協約事項の達成基準やその評価、事故等含めた記者発表内容、大会、イベント情報等についてインターネットで広く公開しています。

### （イ）情報公開請求に対する対応

金沢スポーツセンターの管理運営において、十分な透明性を確保し、市民への説明責任を果たします。情報開示請求に対する取り扱いについては、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨にのっとり「体育協会の保有する情報の公開に関する規程」を策定し、その対応を定めています。また情報開示にあたり、個人情報が含まれる場合は十分に配慮する必要があり、JISQ15001 個人情報保護マネジメントシステム（PMS）に適合した運用により個人情報を適正に取り扱います。

## エ 就業体制・福利厚生・労働法規遵守体制

### （ア）公共サービス従事者に適した就業体制

高品位なサービス提供の観点から、職員に加重的業務の負担を強いることのないよう、改正労働基準法その他労働関係法規を遵守した就業体制を確保します。

なお、法令遵守や倫理保持等、公正な職務執行を脅かす疑いがあった場合は、「コンプライアンス規程」に基づき、事務局長を責任者として調査、告発、再発防止等のための措置を行い、「就業規程」及び「懲戒処分の標準例」に基づき対応します。

## (イ) 社会保険と福利厚生及びワークライフバランスへの取り組み

安全で良質な公共サービスを実施するためには、いきいきと働ける環境が不可欠です。当体育協会では、必要な社会保険等に加加入するとともに、仕事と生活の調和を図るため、育児休業、介護休業、各種休暇等のワーク・ライフ・バランスのサポートに関する制度を整備するほか、職員の福利厚生を充実しています。特に、女性やシニアが働きやすい環境の整備は社会全体の課題であり、力を入れて取り組んでいます。

また、次世代育成支援対策推進法による一般事業主行動計画を策定するとともに、定年後の継続雇用制度を設け、安心して働きつづけることができる仕組みを整えています。

### ■ワーク・ライフ・バランスに関する制度等

年次休暇 (目標:一人あたり平均10日以上)	骨髄提供休暇
病気休暇	結婚休暇
社会貢献活動休暇	夏季休暇
生理日休暇	祭日休暇
育児時間	男性職員の育児参加休暇
服忌休暇	配偶者の出産のための休暇
短期介護休暇	介護休暇
子の看護休暇	公の職務執行休暇(裁判員制度対応)
ノ一残業デーの設定(毎週水曜日)	衛生通信の発行と産業医による健康相談
横浜市勤労者福祉共済 ハマふれんどへの加入	



産業医

## (ウ) 労働法規遵守体制

指定管理者として法令遵守は当然のことですが、適法かつ社会の要請に応えた管理運営を確保する観点から、労働基準法をはじめとする労働関係法規を遵守した適切な就業体制を確保しています。また、マイナンバー制度やストレスチェック義務化等、法改正による新たな制度についても迅速に対応できるよう準備を怠りません。

日本国憲法/労働基準法/労働者災害補償保険法/最低賃金法/障害者基本法/労働安全衛生法 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律/公益通報者保護法 労働保険の保険料の徴収等に関する法律/労働時間等の設定の改善に関する特別措置法 育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律/次世代育成支援対策推進法 短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律/労働契約法/労働組合法/職業安定法 障害者の雇用の促進等に関する法律/裁判員の参加する刑事裁判に関する法律/雇用保険法 高齢者等の雇用の安定等に関する法律/健康保険法/厚生年金保険法/介護保険法 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律 等
---

## オ 類似施設の豊富な管理運営実績

当体育協会は、多くの施設の管理運営実績を有しています。管理する指定管理施設は、第三者評価や外部評価において、いずれも高い評価を得ています。

■スポーツセンター 15施設 鶴見・神奈川・西・中・南・港南・保土ヶ谷・旭・磯子・金沢・港北・都筑・戸塚・栄・瀬谷
■公会堂 1施設 栄
■野外活動施設 5施設 三ツ沢公園青少年野外活動センター・くろがね青少年野外活動センター・こども自然公園青少年野外活動センター・赤城林間学園・南伊豆臨海学園
■体育館施設 2施設 横浜文化体育館・平沼記念体育館
■プール施設 9施設



日産スタジアム

横浜国際プール・横浜プールセンター・本牧市民プール・旭・港南・保土ケ谷・栄・都筑・リネツ金沢
■テニスコート施設 3施設
緑テニスガーデン・泉中央テニスガーデン・根岸テニスガーデン
■スポーツコート施設 1施設
みなとみらいスポーツパーク
■新横浜公園
新横浜公園・日産スタジアム・日産フィールド小机・日産ウォーターパーク・しんよこフットボールパーク
■横浜市スポーツ医科学センター
■神奈川スケートリンク
■鶴見川漕艇場
■たきがしら会館



横浜国際プール

## カ 認証制度の取得等

当体育協会では、良質かつ適正なサービスを提供するとともに、広く社会に貢献するための各種認定やそれに類するものを取得しています。

### プライバシーマークの取得

当体育協会は、平成18年11月から、日本工業規格「JISQ15001 個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合する個人情報保護への取り組みを始め、平成20年8月にプライバシーマークの付与認定を受けました。以来3度の更新を経て、現在も運用中です。

### 日本赤十字社神奈川支部企業等連携プログラム「いつもここに 安心を」

日本赤十字社神奈川支部による、安全で安心感が高いと感じられる地域づくりをめざした企業等連携プログラム「いつもここに 安心を」の趣旨に賛同し、協会としてこのプログラムに参加しています。横浜市消防局による応急手当に関する講習会への参加の他、このプログラムへの参加によって、職員の応急手当に関する意識・スキルの向上を図っています。

### 「ISO20121(イベントマネジメントの持続可能性に関する国際標準規格)」の認証

当体育協会を構成団体とした世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会では、世界トライアスロンシリーズ横浜大会において、「ISO20121(イベントマネジメントの持続可能性に関する国際標準規格)」の認証を取得し、環境への配慮、地域や社会への貢献、地域経済の活性化等の取り組みをしています。

### 第5回横浜シーサイドトライアスロン大会 ブルーカーボンオフセット証書授与

当体育協会が実行委員会事務局を務めた、第5回横浜シーサイドトライアスロン大会(平成26年9月28日実施)において、横浜市との協働による地球温暖化対策「横浜ブルーカーボン事業」でカーボンオフセットの社会実験にチャレンジし、平成27年1月20日(火)に横浜市温暖化対策統括本部から証書が授与されました。寄附金などでオフセット(埋め合わせ)する取り組みのことで、わかめの栽培・地産地消を支援して海の環境改善に貢献し、CO<sub>2</sub>削減につなげました。



## 2 施設の平等・公平な利用の確保(様式9)

私たち指定管理者は、公の施設である金沢スポーツセンターのご利用について、法的にも実際にお客様が利用される際にも平等性・公平性を確保しなければなりません。

私たちは、関係法令遵守による平等利用の確保はもちろん、ユニバーサルデザインのもと、年齢やハンディキャップ、国籍等による使いにくさを排除し、運営します。

### (1) 誰もが平等に利用できる仕組みづくり

#### ア 平等利用の原則を堅持する体制

私たちは、指定管理者として公共施設の平等性・公平性を確保するために、金沢スポーツセンターの管理運営に係る全員が、当館の設置目的や関連諸規定について、理解の徹底を図る体制を次のように整えています。

#### (ア) 公共性・公平性保持に関する条例等の理解

地方自治法第244条第2項及び第3項(※)では、信条、性別、社会的身分、年齢等により合理的な理由なく公共施設の利用を制限することを禁じています。

私たちは、この地方自治法をはじめ、横浜市市民活動推進条例、横浜市スポーツ施設条例及び同施行規則等の正しい解釈と、関連内規を職員が熟知するために、研修や職場における実務研修(OJT)による理解の徹底を図り、適正な利用許可や調整方法に平等性を確保します。

※地方自治法

第244条第2項

「普通地方公共団体(次条第3項に規程する指定管理者を含む。次項において同じ。)は、正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない。」

第244条第3項

「普通地方公共団体は、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取扱いをしてはならない。」

#### (イ) 人権尊重の取組

金沢スポーツセンター所長を人権啓発推進者とし、職員や協力会社など全スタッフを対象とした人権問題に関する専門研修(年1回)を実施します。また、平成25年6月に成立した障害者差別解消法において、障がい者に対する社会的障壁の排除が事業者の努力義務となっていることから、金沢スポーツセンターでは、サービスや情報の提供について、多様なお客様を区別することなく、ぬくもりある接遇を全スタッフに徹底します。



全職員対象の人権研修(H27.3月)

### （ウ） 公共サービス従事者としての職員研修

公共サービス従事者として心構えを徹底するため、指定管理者研修を毎年実施しています。公益財団法人である私たちは、横浜市政策局主催の指定管理者セミナーに参加するなど、サービスの公平性を保つ取組を積極的に行っています。

協力会社や外部講師には年度当初に研修を実施し、理解を徹底します。



指定管理者研修(H25.10月)

### （エ） 不正な利用を許さない！反社会的組織への対応

施設の平等公平な利用の確保のために、神奈川県暴力追放推進センターの賛助会員となり、「暴力団追放ステッカー」の掲示や対策研修の協力を仰ぎ、反社会的組織による利用を抑止します。

※27 ページに詳しく掲載しています。



暴力団対策研修(協力:神奈川県警)

## イ 適正な利用許可(一般利用)・予約システムの実行体制

### （ア） 体育室・研修室での団体一般利用の受付

団体の一般利用については、「横浜市市民利用施設予約システム」による公正な抽選と空き枠の先着受付により決定します。

受付カウンターや当館ホームページ等で、初めての方にもわかりやすいご案内をするとともに、空き状況を館内掲示板などで毎日掲出し、利用促進に取り組みます。

### （イ） 定期教室の受付

教室募集時に定員以上の応募があった場合は、初めて参加希望者を優先したうえで、当体育協会「教室事業基本マニュアル」に沿って公開抽選を実施し、平等・公平を確保します。現在、金沢スポーツセンターの教室への応募は、インターネットからのお申込みが約25%となっています。引き続き高齢者などインターネットが苦手なお客様に配慮し、往復はがきでも受け付けます。



教室抽選会(公開)

## ウ 優先利用の受付

### （ア） 優先利用のできる団体

優先利用は、横浜市市民活動推進条例第12条および同施行規則第3条に示される、申請理由や事業の計画・収支予算書等の必要な書類に漏れがないよう、適正に対応します。

横浜市や市内スポーツ関係団体等が不特定多数の市民を対象に開催する大会やイベント等は、利用前年度に「横浜市スポーツセンター及び平沼記念体育館優先利用調整会議」によって、公正に施設優先利用を確保します。横浜市市民活動推進条例で規定する活動に合致した団体のほか、横浜市主催・共催事業、各市民大会等での利用団体などを優先利用の対象団体とします。

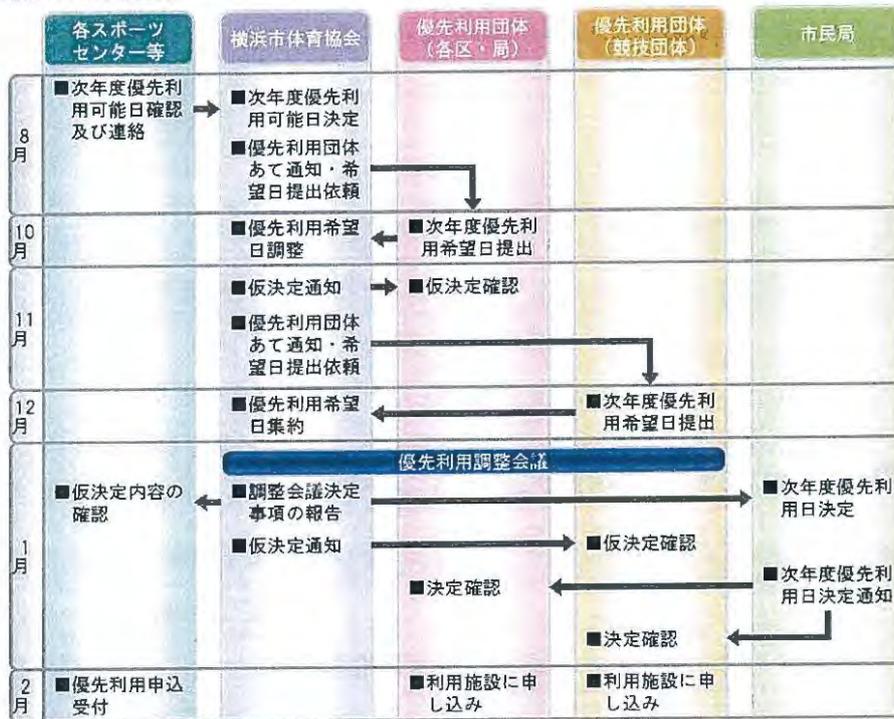


優先利用申請書

### (イ) 優先利用の受付

優先利用の調整にあたっては、当体育協会優先利用調整マニュアルに基づき、綿密な年間スケジュールのもとで進めます。

#### ■ 優先利用調整フロー



施設利用受付時及び利用料金受領や減免措置においても、関連条例の遵守及びスポーツセンター業務基準に則り、適正に取扱います。適用の可否については厳密な審査のうえ判断し、平等・公平利用を堅持します。

### エ 減免利用の受付

金沢スポーツセンターでは、横浜市スポーツ施設条例、同施行規則の減免に関する規定に則して減免基準を設け、横浜市が主催・共催・後援する事業や障がい児・者、子どもが利用する際などに施設利用料を減じています。減免利用の可否については、基準に則り適正に取り扱うとともに、申請書等を定めて正しく事務処理を行います。また、お客様に対して減免の適用についてわかりやすく説明します。

平成26年度減免実績	学校	障がい者	高齢者
件数	83件	278人	195人
金額(円)	74,375円	35,740円	19,500円

■減免に関する基準の抜粋

横浜市スポーツ施設条例 第13条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。
横浜市スポーツ施設条例施行規則 第11条 条例第13条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。

(2) 誰にでもやさしい施設を目指して

横浜市は老年人口比率 21%を超える超高齢社会です。障害者手帳の発行数も増加する中、市民の平等な施設利用を確保するためには、法令遵守と併せて、年齢や障害、国籍などにかかわらず、利用しやすい施設にする必要があります。

私たちは右図のユニバーサルデザインの7原則に則り、誰に対しても同等で利用しやすいユニバーサルサービスを提供します。

ユニバーサルデザインの7原則



ロナルド・メイスが唱えたユニバーサルデザイン7原則

ア ユニバーサルデザインを踏まえたサービスの提供

私たちは、お客様にとって公平で使いやすい施設となるよう、現指定期間中もユニバーサルデザインの更新を行ってきました。下記の表がその一覧です。

今後は、多様なお客様のご意見を、新たなサービスとして取り入れる仕組みを強化し、サービス向上を図っていきます。



筆談器などのコミュニケーションボード

■金沢スポーツセンターのユニバーサルデザイン実績

□サービス面		主な対象
送迎	お客様へのさわやかな挨拶と暖かい笑顔で、お迎えとお見送りをします。また、スタッフによる入退場ドアの開閉をお手伝いしています。	全員
案内・誘導	サービス介助士を配置しており、お客様の不安がないよう案内誘導をします。車いすの方には、トイレや駐車スペース等へ行く際のサポートを行っています。	障がい者 高齢者
接客	接客研修やノーマライゼーション研修を実施し、職員全員がホスピタリ	全員

	ティーを持って接客します。お子様には姿勢を低めて目線を合わせ、わかりやすい言葉で話します。	
受付	耳や言葉の不自由な方に、筆談ボードやコミュニケーションボード(社会福祉協議会作成)、高齢者や弱視の方には老眼鏡や拡大鏡を用意しています。	障がい者 高齢者
印刷物	弱視や色弱などの障害がある方でも見やすいUDフォントやポイント数、色などを考慮し、地図やアクセス方法等の情報を盛り込みます。	障がい者 高齢者
外国語	外国語ができる受付職員を配置し、受付やご利用を支援しています。館内放送は、緊急時用に外国語の放送原稿を用意しています。	外国人
利用案内	初めての方、障がい者の方でもスムーズにご利用いただけるよう、ご利用日前の打ち合わせを行っています。	全員
□設備面		主な対象
車いす	サイズの異なる車いすを用意しています。飲料の自動販売機は、車いすの方に使いやすいデザインの機種を設置しています。	障がい者 高齢者
入口・通路	素通しガラス扉にラインテープを張り、衝突事故を防いでいます。階段や通路は、段差や場所がわかりやすいよう配色を工夫しています。	全員
トイレ	多目的トイレに子ども用便座を設置しています。	子ども
案内表示	多くの室場をわかりやすくご利用いただくために、ピクトサインと外国語での案内表示を設置しています。	外国人 子ども



笑顔でお出迎えます



サービス介助士配置の掲示



ユニバーサルデザイン自動販売機

## イ 障がい児・者や高齢者、子どもにやさしい環境づくり

### (ア) レクリエーション機会拡大のための団体間連携

障がい児・者へのレクリエーション機会の拡大は、専門性のある団体との連携が欠かせません。

私たちは、職員の資質向上のために、障害者スポーツ文化センター横浜ラポールの協力のもと、定期的な実践研修を行っています。



横浜ラポールでの定期研修

### (イ) 高齢者の運動機会の確保

金沢スポーツセンターは、私たち体育協会が管理するスポーツセンターの中で、60歳代・70歳代のお客様の割合が多い施設です。また、継続してご利用いただいている方では80歳代のお客様もいらっしゃいます。今後も無理なく通っていただくために、私たちは、館内の休憩用のいすや手すり設置等のハード面の配慮のほか、シニア向けに認知症予防体操教室など健康教室の開催により、スポーツセンターが高齢者へやさしい施設となり、生きがいくりの場として認知されるようサポートします。



シニア向けの  
らくらく体カづくり教室

### （ウ）横浜市子育て家庭応援事業「ハマハグ」認定施設

「ハマハグ」は横浜市が推進する子育て家庭応援事業の愛称です。横浜の「ハマ」と「ハグ (hug)」で、子ども達が温かく見守られて育てほしいという願いが込められているこの事業に、金沢スポーツセンターではハマハグスポットとして協力しています。



ハマハグ認証施設の掲示

- 金沢スポーツセンターでのサービス  
おむつ交換台、粉ミルクのお湯提供、子ども用便座  
トイレ、ベビーキープ

## ウ 新たなお客様を迎えるためのPR活動

### （ア）継続的な広報活動

金沢スポーツセンターをご利用されない区民の方を含む、全区民に対して施設利用の平等性を確保するためには、広報活動を切れ目なく行い、当館の情報に触れる機会を絶やさないことが大切です。

私たちは、金沢スポーツセンター職員に広報担当者を定め、定期的かつ有効的な広報を行っていきます。スポーツセンターのホームページでは、施設案内はもちろん、お問合せメールやブログ更新により、より多くの方に当館の事業を周知します。

### （イ）情報のバリアフリー化

インターネットによる情報提供が一般化し、高齢者などインターネットに不慣れな方との情報格差が生じています。私たちは、地域情報誌など紙媒体での情報発信も引き続き実施します。

また、私たちは施設ホームページを委託せず作成・更新しています。新規ページの作成・情報発信には、当体育協会「ウェブページ作成基準」内にウェブアクセシビリティ方針を示しており、日本工業規格「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ」に配慮し、良質で安全なページ作成を確保しています。



# 3 コンプライアンス (様式10)

## (1) コンプライアンスの基本的な考え方

コンプライアンス活動とは、「法令遵守は、あらゆる組織の基本的な義務であり、組織の社会的責任の基礎的な部分である。」との認識に立って、法令遵守以上の活動を実践していくことであると考えています。そして、社会の一員として、持続可能な発展に貢献するため、関係する多くの方々の要求・期待に応える責務があると認識しています。



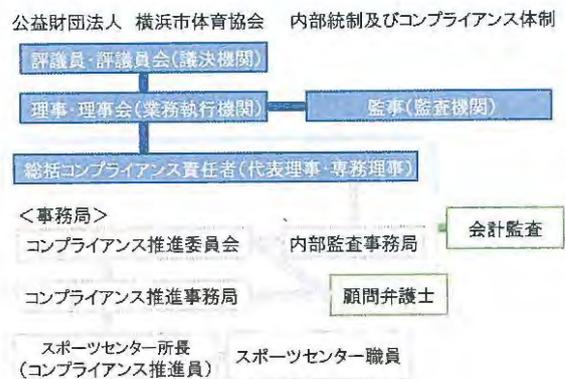
スポーツセンターの  
コンプライアンスに関する研修(H26.12)

私たちは、コンプライアンスに関する規定や組織を設けるとともに、協会活動に伴うリスク管理の仕組みを構築し、法令遵守以上の活動を実践してまいります。

## (2) 適切な情報管理体制

### ア 内部統制システムとコンプライアンス体制の全体像

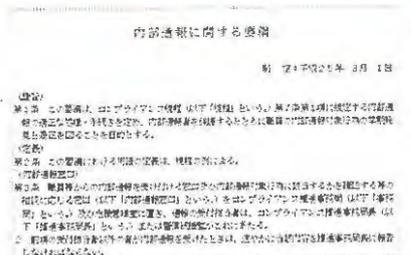
公益財団法人である当体育協会は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」、「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づいた規律もと、善良なる管理者の注意をもって取り組むことは当然の義務です。



当体育協会のコンプライアンス体制は、関係法令の要求に基づいた“内部統制システムの一部”として、経営トップである代表理事（専務理事）を総括コンプライアンス責任者としたリスク管理の仕組みを構築しています。

### イ コンプライアンス窓口

当体育協会のコンプライアンス窓口は、コンプライアンス推進事務局本部である総務課が担当しています。また、内部通報については、「内部通報に関する要綱」の定めにより、コンプライアンス推進事務局本部の他、危機管理室にも窓口を設置し、相談しやすい仕組みを構築しています。



当体育協会の内部通報に関する要綱(抜粋)

## ウ コンプライアンス推進計画

私たちは、「コンプライアンス推進計画」を策定し、法制度等の対応や内部統治の仕組み整備、職員倫理の浸透、情報管理ルールなどコンプライアンスに関する事項について一元化し、研修や情報共有システムを通じてすべての役職員に浸透を図り、継続的に適正かつ健全な事業活動を実践し、社会の信頼に応える経営を実現します。

コンプライアンス推進計画	
法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種法律・条令</li> <li>● 指定管理者業務の基準・協定書</li> <li>● 規程・要綱</li> <li>● 各種マニュアル</li> </ul>
内部統制	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部統制</li> <li>● 内部告発制度</li> <li>● 情報共有</li> </ul>
倫理・行動規範	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理念の浸透</li> <li>● 職員行動指針の浸透</li> <li>● 研修・教育</li> </ul>
情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報ネットワークセキュリティ</li> <li>● 情報開示・情報公開制度</li> <li>● 個人情報保護マネジメント</li> </ul>

## エ 指定管理者に課される守秘義務の徹底

指定管理者は、お客様及び職員に関する個人情報、情報公開規定における非開示情報など、守秘すべき様々な情報を保有しております。こうした情報が外部などへ漏洩すれば個人の権利や公益を害する事態を招来するおそれがあります。こうした事態の発生の予防措置として職員及び外部指導者に対して研修を実施し、守秘義務の徹底を図っています。

## オ 職員の懲戒に関する規定

守秘義務違反や情報漏洩など、公正な職務執行を脅かす疑いがあった場合は、「コンプライアンス規程」に基づき、適正な処理を行うとともに、顧問弁護士等外部の専門家からなる調査チームを設置し迅速に対応します。

万が一、職員に法令違反や職務上の義務違反等があった場合は、「就業規程」及び「懲戒処分の標準例」に基づき、公平委員会での審議の上、厳正な処分を課します。

## カ 強固な情報ネットワークセキュリティシステム

私たちは、お客様の個人情報等を取り扱う事業者として、情報システムやネットワークを外部からの不正アクセスなどの脅威から守り、安全性と信頼性を確保しなければなりません。

そこで、当体育協会では、情報ネットワークセキュリティ管理要綱を定め、お客様の大切な情報を守ります。当体育協会のネットワークは、VPN（仮想プライベート・ネットワーク）を採用しインターネットを介さない安全性の高いネットワーク環境を構築しています。

## キ 反社会的勢力との関係排除【再掲】

暴力団対策法及び横浜市暴力団排除条例に則り、行動することは当然の義務です。施設の利用において、暴力団の利益が疑われる場合は、横浜市、神奈川県警と十分に連携を図り、利用等の不許可、又は当該許可等の取り消しを行います。

また、各種業務契約においても、締結しない、または解除す



暴力団等対策研修  
(協力:神奈川県警)

る旨を約款に記載しています。

さらには、公益財団法人神奈川県暴力追放推進センターの協力を得て、職員を対象に行政暴力に対する研修を実施するなど、反社会的勢力との関係排除への対応に取り組んでいます。

### (3) 適正な経理処理と業務監査体制の充実

#### ア 横浜市に準じる適正な経理処理体制

公益法人会計基準及び横浜市会計経理関係規定等に準じて、各種経理関係規程及び独自の経理事務マニュアルを策定しています。

これに基づき日常業務を遂行するとともに、定期的を開催する内部経理研修や全国公益法人協会で開催する経理実務講座等による職員の能力開発、資格取得等に努め、より適正な経理処理を実施します。

#### イ 内部監査による業務適正化の推進

当体育協会内部監査要綱に基づく監査を毎年定期的に行っています。この内部監査は、文書管理、労務管理、経理処理、情報ネットワーク等に関する事務の執行や、現金出納が規定に沿って適正かつ効率的に行われているか監査するものです。この監査により業務の点検及び改善についての提言を受け、業務の適正化・効率化を図ります。



当体育協会本部職員による内部監査報告

#### ウ 外部監査による公正性の確保

金沢スポーツセンターを含む当体育協会の経理処理は、公認会計士による外部監査（会計監査等）を実施し、公正性、公益性を確保します。

直近では、平成27年6月1日～6月5日に渡って実施した公認会計士による外部監査において、公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠し、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認められました。



公認会計士による外部監査

### (4) 指定管理者としての関係法令・条例の遵守

#### ア 遵守する関係法令及び規定・マニュアルの整備

法令遵守は、あらゆる組織の基本的な義務であり、組織の社会的責任の基礎的な部分です。違法行為については、当然法的制裁が加えられ、社会の信用を失うこととなります。私たちが事業活動を行う際に適用を受ける法令と法令に基づく内部規定・マニュアルを遵守し、金沢スポーツセンターの管理・運営を行います。

## ■主な関係法令・条例等

人権・労働関係	日本国憲法／労働基準法／労働者災害補償保険法／最低賃金法／労働保険の保険料の徴収等に関する法律／障害者基本法／労働安全衛生法／雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律／育児休業・介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律／労働時間等の設定の改善に関する特別措置法／短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律／公益通報者保護法／次世代育成支援対策推進法／労働契約法／労働組合法／職業安定法／障害者の雇用の促進等に関する法律／雇用対策法／高齢者等の雇用の安定等に関する法律／雇用保険法／健康保険法／厚生年金保険法／介護保険法／労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律／裁判員の参加する刑事裁判に関する法律／一般社団法人及び一般財団法人に関する法律等
施設・建物維持保全関係	建築基準法／消防法／電気事業法／水道法／建築物における衛生的環境の確保に関する法律／警備業法／フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律等
環境・保健関係	環境基本法／エネルギーの使用の合理化に関する法律の一部を改正する法律／大気汚染防止法／廃棄物の処理及び清掃に関する法律／地球温暖化対策の推進に関する法律／神奈川県地球温暖化対策推進条例／健康増進法／神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例／新型インフルエンザ等対策特別措置法 等
知的財産・情報セキュリティ関係	知的財産基本法／特許法／著作権法／個人情報の保護に関する法律／横浜市個人情報の保護に関する条例／横浜市の保有する情報の公開に関する条例 等
指定管理者関係	地方自治法・同施行令／公共サービス基本法／スポーツ基本法／平成22年12月28日付総務省自治行政局長通達／都市公園法／横浜市公園条例・同施行規則／横浜市行政手続条例／行政不服審査法／行政事件訴訟法／国民保護法／横浜市中小企業振興基本条例／暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律／横浜市暴力団排除条例／横浜市民活動推進条例、同施行規則、横浜市民協働条例、横浜市地域のきずなをはぐみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例 等

## ■コンプライアンスに関する内部規定・要綱・マニュアル等

就業規程／嘱託職員就業要綱／パートタイマー及びアルバイト就業要綱／内部通報に関する要綱／職員の育児休業等に関する規程／職員の育児又は介護のための深夜勤務及び超過勤務の制限に関する要綱／職員の再任用に関する要綱／衛生委員会要綱／省エネ法改正に関するQ&A集／個人情報保護に関する規程／コンプライアンス規程／情報ネットワークセキュリティ管理要綱／内部監査要綱／情報の公開に関する規程／不祥事防止マニュアル／セクシャル・ハラスメント防止に関する指針／「行政対象暴力」対応マニュアル(指定管理者用) 等

## イ 労働関係法規の遵守

指定管理者による適法かつ社会の要請に応えた管理運営を確保する観点から、労働関係法規を遵守した適切な就業体制を確保しています。また、管理職や労務担当者を対象とした研修を実施し、法解釈・理解・規律遵守に努めています。



管理職等への「人事労務研修」

## ウ 最高レベルの個人情報保護の取り組み

私たちは、平成20年8月にプライバシーマークを認定取得しました。個人情報の保護に関する法律の規定以上の措置を定める「JISQ15001(個人情報保護マネジメントシステム—要求事項)」に適合した個人情報保護体制を構築・運用し、大切なお客様の個人情報を厳格に管理しています。

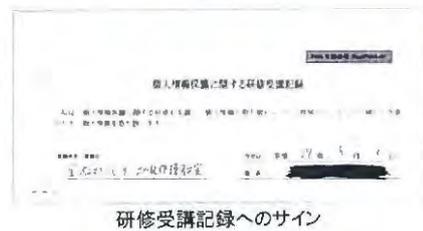
また、法人として医療情報など特定機微な個人情報を保有していることから、特に厳格な審査をクリアしたプライバシーマーク付与事業者として最高レベルの体制を整備しています。



### スポーツセンターにおける個人情報保護の取組

金沢スポーツセンターの管理・運営においても、チェックリストに基づく年2回の個人情報の保護に関する自主点検や、アルバイト職員・外部指導者・ボランティアスタッフを含む全職員に対する年1回以上の研修を行っています。

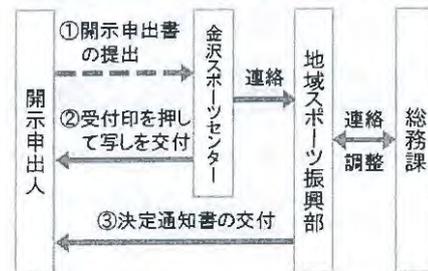
また、個人情報を含む業務を委託する場合は、委託業者に対し、秘密の保持が厳守できる体制を確認・審査した上で契約を締結しています。



### エ 情報開示請求に関する対応

情報開示請求に関する対応は、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の趣旨に則り、「体育協会の保有する情報の公開に関する規程」で規定しています。情報開示請求があった場合は、「開示の可否」「開示に係る文書」「開示の日時・場所」「開示方法」「担当課」等を決定し、14日以内に決定通知書を交付します。また、情報公開をテーマとした職員研修を継続的に実施することで、それを担保していきます。

横浜市体育協会における情報公開手順フロー



※協会本部に情報公開請求があった場合は地域スポーツ振興部が対応します。

### オ 横浜市行政手続条例の適用

施設の利用許可について指定管理者は、「横浜市の機関」として権限を行使するものであることから、「横浜市行政手続条例」の規定が適用されます。そのため、利用に関することを館内に掲示するとともに、ホームページでも公表しています。利用申請に対する判断に際して、疑義が生じた場合には、横浜市と協議した上で決定します。お客様の利用許可申請に対する不許可などの不利益処分を実施する場合には、行政不服審査法に基づき、申請者が横浜市に対して審査請求できる旨を書面で教示します。

## 力 新しい法制度への対応

当体育協会では、新しい法制度に対応した規定を迅速に整備しています。  
マイナンバー制度やストレスチェック義務化についても迅速に対応できるよう準備をしています。

新法、法改正等への対応	対応状況
平成24年改正高齢者雇用安定法	就業規程の改正(継続雇用制度)
平成22年改正労働基準法	給与規程の改正(法定割増賃金率の引き上げ)
公益通報者保護法	内部通報に関する要綱の策定
パートタイム労働法	就業要綱制定
雇用対策法	職員採用募集要項の変更
次世代育成支援対策促進法	一般事業主行動計画の策定
裁判員制度	就業規程の改正(公の職務執行休暇)
特定健診・特定保健指導	被保険者及び被扶養者の特定健康診査の受診
育児・介護休業法	就業規程及び育児休業等に関する規程の改正

## (5) 社会の持続可能な発展に貢献

当体育協会は、社会の持続可能な発展に貢献するため、様々な活動をしています。

項目	主な取り組み	活動の様子
人権配慮	<p>■人権研修の実施及び人権啓発推進者の設置 等</p> <p>社会的責任を果たしていくうえでの基礎と考えています。人権研修は、年に1回全職員を対象に実施しています。また、各職場では、人権啓発推進者を中心に、人権週間にあわせたポスターやパネルの掲出や人権関係のパンフレットを職場内で閲覧するなど、人権啓発推進活動を実施しています。</p>	
	<p>■ビーチクリーン活動</p> <p>当体育協会が主催団体である「YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ」では、「スポーツと環境保全」をイベントテーマの一つとして掲げ、「ビーチクリーン活動」を実施しています。</p>	
環境保護	<p>■「ISO20121(イベントマネジメントの持続可能性に関する国際標準規格)」の認証</p> <p>当体育協会を構成団体とした世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会では、世界トライアスロンシリーズ横浜大会において、「ISO20121(イベントマネジメントの持続可能性に関する国際標準規格)」の認証を取得し、環境への配慮、地域や社会への貢献、地域経済の活性化等の取り組みをしています。</p>	
	<p>■東日本大震災被災地(岩手県釜石市)の支援活動</p> <p>「私たちにできることは何か」を考え、年に1回被災地の支援活動を行っています。仮設住宅にお住まいの方々に、手軽に行える簡単な体操や軽スポーツを実施し、笑顔と活力を届けました。</p>	
被災地支援	<p>■群馬県昭和村大雪被害に対する支援</p> <p>横浜市と友好・交流に関する協定を締結している群馬県昭和村では、平成26年2月の記録的な大雪でビニールハウスの倒壊や道路の遮断など、村内全域で甚大な被害が発生しました。私たちは、横浜市のボランティア隊と同行し倒壊したビニールハウスの撤去などを行いました。</p>	



## 4 施設の効用の最大限発揮(様式1)

金沢スポーツセンターの施設効用を最大限発揮するにあたり、公共サービス従事者として、地方自治法をはじめとした関連法令の遵守と併せて、金沢区運営方針やスポーツ基本法を十分に理解し、その理念を具現化することが大切であると考えます。

私たちは当館の運営を通じて、スポーツ基本法前文において謳われている「スポーツは、これを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利」の趣旨に鑑み、独創的なアイデアで市民の自発的かつ多種多様なスポーツ活動を受け入れることができるサービスの提供に尽力します。



スポーツ基本法・計画の啓発



朝礼の様子



スタッフの名札裏の指針明記

### (1) 金沢スポーツセンターの施設価値を高める新たな取組

当体育協会は、お客様のニーズや各地域主体からの声、また金沢区の行政課題に対して、スポーツセンター従来のサービスを拡充とともに、次の4つを重点取組として遂行することにより、金沢スポーツセンターの施設価値を高めていきます。

#### ① 区民の健康づくりを担う横浜市体育協会の健康サービス

##### 「健康」「病気・老後」への関心の高まり～健康サービスに取り組む背景～

金沢区が平成26年度に実施した調査では、「暮らしの中で、最近気になっていることや困っていること」の質問に対し、「自分の病気や老後のこと」の回答が最も多く、健康問題への関心の高さがうかがえます。

市内でも高齢人口比率の高い金沢区では、区民の健康づくりや疾病予防に関して、区運営方針や地域福祉保健計画での健康寿命への必要性が謳われています。



『調査で読み解く金沢区の福祉と保健』より抜粋

## 私たちが目指す健康サービス

当体育協会は、現指定管理期間に取り組む重点プロジェクトとして、厚生労働省の指定運動療法施設認定を受け、横浜市スポーツ医科学センターとの連携において、下記表の「第2期指定管理期間に実施した健康プログラム」を推進してまいりました。横浜市スポーツ推進計画においても「市内のスポーツセンターと横浜市スポーツ医科学センターが連携・協力することにより、市民の健康づくりの推進を図る」取組が挙げられていることから、高齢者や疾病者等を含めた”地域の健康づくり”を担い、社会的な課題に対応できるスポーツセンターこそ、第3期にふさわしい指定管理施設であると認識しています。

私たちは、お客様ニーズや将来的な高齢化を踏まえたスポーツセンターの新たな機能として今後も健康づくりサービスを推進し、「金沢区民のいきいきとした暮らしを実現するスポーツセンター」を目指します。

■第2期指定管理期間に実施した健康サービス	第3期
内科系運動療法(スポーツ医科学センター連携)	拡充
健康・栄養講座の開催	継続
健康管理システム	拡充
スポーツ医事相談	継続
姿勢測定サービス	継続



姿勢測定サービス

## 内科系運動療法のプログラム拡大 拡充

私たちは、現指定管理期間の重点取組として内科系運動療法を実施しました。1つの事例として、内科医師の指示書(運動処方箋)に基づいて行う運動プログラムに参加されたお客様は、2キロの減量に成功され、血中コレステロール値などの血液データや体脂肪率が改善されました。

今後も、スポーツセンターにおいて区民が身近にスポーツ医科学的なサポートを受けられるサービスとして、内科系運動プログラムを実施します。



運動負荷試験を取り入れた減量プログラム

## 整形外科系運動療法プログラム「膝・腰コース」 新規

当体育協会では、横浜市スポーツ医科学センターにおいて、動きを改善することで関節の負担を軽減し、痛みを減らして日常生活の支障をなくすことを目的とした「膝・腰コース運動療法」を実施しています。ニーズの高いこのプログラムを金沢スポーツセンターにおいても実施できるよう、年度毎に段階的に進めていきます。

### ■膝・腰コース運動療法の年度計画案

年度	実施内容
平成27年度	事業実施計画、研修計画及びカリキュラムの作成 横浜スポーツ医会との調整
平成28年度	研修の開始(膝・腰コーストレーナーの養成)
平成29年度	金沢スポーツセンターで開始



整形外科プログラム

### 横浜市医師会の協力 **拡充**

私たちは、第2期指定管理期間中に横浜市医師会と事業連携し、「スポーツ医事相談事業」を実施しました。

第3期指定管理においてはスポーツのみならず、生活習慣病の予防や治療としての運動について、横浜市医師会との連携を図ります。



スポーツ医事相談

## 横浜市体育協会のシニア向け予防プログラム

### 運動プログラムによる予防

金沢区全域への健康づくりを推進するためには、地域の健康づくり拠点との連携は欠かせない要素です。当体育協会では、ロコモティブシンドローム予防のための横浜市オリジナルトレーニング『ハマトレ』等を用いた介護予防プログラムを金沢区で普及させるほか、福祉保健センターや地域ケアプラザへの生活習慣病予防、認知症予防の取組に対し、運動プログラムを活用して支援します。



当体育協会がプログラム開発した『ハマトレ』

### 姿勢改善プログラム

当体育協会では、姿勢を画像解析し、正しい姿勢のためのアドバイスを行う「姿勢測定サービス(有料)」を実施しています。金沢スポーツセンターでも人気のこのプログラムは、シニア世代を中心に、第2期指定管理期間中に140人(開催数11回)の方に参加していただきました。区民の健康寿命を延伸し、いつまでも元気に過ごすことができるよう、今後も継続して実施します。



姿勢測定結果表

## ② 快適なレクリエーション空間をつくる取組

### 子育て世代を応援するため託児室を設置 **新規**

私たちは、子育て世代への支援に資するよう、現指定管理期間に研修室を活用した託児サービスを行っています。今後は、新たに託児室を設置し、教室参加者の託児サービスや託児付き教室以外の時間はパーソナルトレーニングや個別体力相談などの多目的スペースとして開放します。



新たに託児室を設置

### トレーニングスペースの拡大 **新規**

金沢スポーツセンターでは、現指定管理期間にトレーニング機器の一部をリニューアル

アルしました。第3期においても機器のリニューアルを考えています。リニューアルにあわせて、現在トレーニング室内にあるストレッチスペースを隣接した場所に移動させることで、トレーニングできるスペースの拡大を図ります。これにより、お客様に更なる快適な運動空間を提供します。



ストレッチスペースとして活用するロビーの一部

### 中庭を有効活用した健康づくり 新規

金沢スポーツセンターの明るく開放感ある中庭を活かして、グラウンドゴルフの用具を貸出します。

また、朝ラジオ体操など、健康づくりの取組を行います。

このように中庭は、憩いの場だけでなく、健康づくりの場としても活用していきます。



中庭を活用した健康づくり

## ③ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会応援企画

横浜市のスポーツ振興を80年以上担ってきた当体育協会にとって、世界的なスポーツの祭典が自国で行われることは、市民のスポーツ関心度や子ども達が生涯に渡ってスポーツに親しむためのきっかけとなる、またとないチャンスと捉え、オリンピック・パラリンピック種目の体験イベントを企画します。

また、横浜市が日本オリンピック委員会（JOC）とのパートナー都市協定を締結していることから、オリンピックを成功させる一員としての意識を持ち、オリンピックの開催機運を盛り上げます。

※57ページに詳しく掲載しています。



2015 世界トライアスロンシリーズ横浜大会

## ④ 幸せを実感するウォーキング・ランニング事業

申込者10万人を超え大盛況の横浜市ウォーキングポイント事業、また横浜マラソンでは定員の4倍以上の申込者数など、ウォーキング・ランニングへの関心・ニーズの高さを反映し、次の指定管理期間では、スポーツセンター出発のコース紹介などウォーキング・ランニングステーション機能を高める取組の他、新たにウォーキング・ランニングセミナーの開催など、身体が動く幸せを実感できる魅力的な事業で区民ニーズに応えていきます。 ※47ページに詳しく掲載しています。



金沢スポーツセンターオリジナルマップ

## (2) お客様本位のサービス提供

私たちが30年間金沢スポーツセンターを運営してきた中で大事にしてきたことは、安全なご利用はもとより、職員ができる限りお客様との接点を持ち、直接生の声をうかがうことです。その中で、お客様ニーズに応じて早朝の利用時間拡大や、年末の利用日拡大等、利用形態等の変更を柔軟に実施してきました。

健康な区民を増やすためには、新たなお客様を増やすだけでなく、そのお客様が「また来たい」と思い、ご利用頻度を増やすことが重要です。

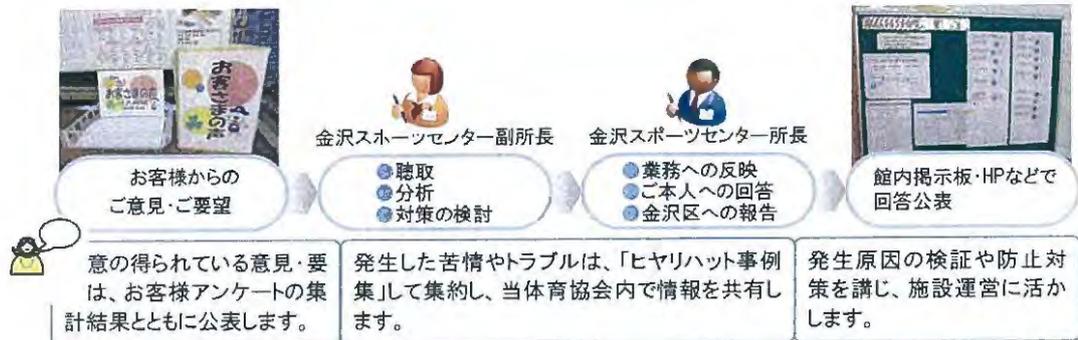
私たちは、これまで大切にしてきたお客様の声をうかがいながら、金沢区民の方からの要望・意見を積極的に採り入れたお客様本位のスポーツセンターを目指します。

### ア 日常的な改善活動によるサービスを向上

#### (ア) ご意見・ご要望への迅速でオープンな対応

私たちは、これまで培ってきたお客様の声を活かした運営改善活動を強化します。当体育協会で制定した「ご意見等に対する取扱い要綱」に基づきお客様へスピーディに回答するほか、この取組を館内掲示板で「見える化」することで、お客様に信頼感を持っていただきます。

##### ■ご意見への対応フロー



##### ■ご意見徴収の種類

種類	対象者	実施頻度	回答・反映方法
お客様の声BOX	ご利用のお客様	随時	回答・反映結果を施設内掲示
指定管理者によるアンケート	ご利用のお客様	年2回	回答・反映結果を施設内掲示 直近次期の教室・イベントに反映
ホームページ内にお問い合わせ・ご意見受付	不特定多数	随時	回答・メールにて直接回答 回答・反映結果を施設内掲示
横浜市「ご意見ダイヤル」	不特定多数	随時	回答・反映結果を施設内掲示
外部調査機関による第三者アンケート調査	ご利用のお客様	5年に1回	回答・反映結果を施設内掲示

##### ■これまでの改善例

- ・マイボトルに給水しにくいのご意見を受けて、ボトル対応の冷水器を設置
- ・便座が幼児に対して大きいのご意見を受けて幼児用便座を設置
- ・第3体育室で夏場に室内が暑いということを受けて、スポットクーラーを設置

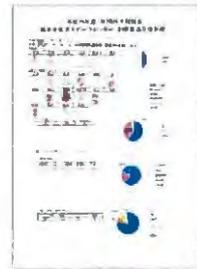


ボトル対応冷水器

## （イ）お客様満足度評価の実施

サービス全般から設備面でのより良い運営のために、定期的な満足度調査を実施しています。調査は職員だけでなく、アルバイト、協力会社のスタッフ、教室指導者とも共有し、その結果に基づいて改善の取り組みを行っています。調査結果は職員ミーティングを開き、改善策を速やかに決めます。これにより、過去3年間の平均満足度は90%以上を保っています。

※118 ページに詳しく掲載しています。



評価結果は全スタッフと共有

## イ おもてなしの接客ができる体制

### （ア）『スポーツセンター受付マニュアル』、『サービス介助マニュアル』の整備

全てのお客様が快適に感じられる顧客満足度の高い運営を行うためには、全スタッフの接客指針となるマニュアルが必要です。

当体育協会では、スポーツセンター独自の『スポーツセンター受付マニュアル』と『サービス介助マニュアル』があります。マニュアルは、サービスの変化に即応した内容とするために、定期的な更新を図っています。

### （イ）接客トレーナー・サービス介助士による定期研修

当体育協会では、副所長を「接客トレーナー」として育成し、トレーナー制による職場における実務研修（OJT）の仕組みを有しています。また、ノーマライゼーションの観点から、サービス介助士を配置しています。



接客トレーナー研修

接客トレーナーは当体育協会本部研修を経た後、施設内研修で講師となるほかマニュアルに基づく職場における実務研修（OJT）を実践しています。研修テキストは、前述の受付サービスマニュアル及びサービス介助マニュアルを活用し、講義と実践練習を行っています。

### 高いサービスレベルの徹底方法

金沢スポーツセンタースタッフは、トレーナーによる研修の後、マニュアルの理解促進とレベルアップのための年2回の定期テストを受けます。「研修（マニュアル理解）→実践→テスト→改善」のサイクルで質の高いサービスを維持しています。定期テスト返却時には、所長から日ごろの取り組みへの評価やねぎらいを書き添えています。

100以上の設問から構成する確認テスト

また、委託先や外部講師もスポーツセンタースタッフと同じサービスレベルにするために、私たちの運営方針への理解徹底を図っています。

## (ウ) ワンストップサービス

### 施設の利用に関するサービス 新規

当体育協会では、指定管理者となっているスポーツセンターにおける「施設間相互受付システム」を構築しました。複数施設分の利用料一括精算ができるようになり、団体利用のお客様から好評です。また、個人のお客様が増えていることから、収納処理をレジ対応から券売機に変え、お客様にご案内できる時間を増やします。



世田谷区スポーツ振興財団で視察した券売機

### コンシェルジュ(総合案内係)の配置 拡充 新規

金沢スポーツセンターには、元スポーツ推進委員、子ども会役員など地元精通したスタッフ(平均勤務年数5年、最長10年)が多くいるため、金沢スポーツセンターの総合案内のほか、区内公共施設の情報や周辺のスポーツ施設、団体情報などのインフォメーション機能が自慢です。今後は、さらにお客様にわかりやすい説明ができるよう、タブレット端末を用いて説明します。



地域に精通したスタッフ

## ウ ユニバーサルデザインの実践【再掲】

私たちは、すべてのお客様にご満足いただける利用環境づくりに向けて、ユニバーサルデザインやバリアフリー化に取り組んでいます。今後は、障がい児・者や外国人のお客様、拡充する健康づくりプログラムのためにお越しになる高齢者の方に配慮した施設管理を行います。

※23 ページに詳しく掲載しています。

### ■第3期指定管理期間に計画するユニバーサルデザイン・バリアフリー化

対応	内容
手すりの設置	トイレや更衣室付近に手すりを設置します
ロビーヘイス等の設置	丸テーブルとイスの増設

## (3) 貸切、個人のお客様へのきめ細かい支援策

公共サービス従事者として金沢スポーツセンターを運営する上では、お客様の目的を的確にくみ取ること、そして適切な対応を素早く行うことが大切です。

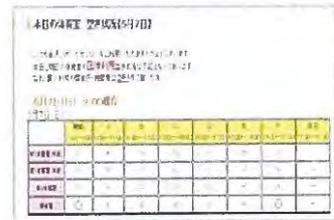
私たちは、スポーツセンターを安全で楽しくご利用いただけるように、お客様本位のニーズに合わせた支援を実施します。

### ア 貸切(団体)のお客様への支援

心身ともに健康な金沢区民を増やすためには、私たちが主催する事業のほかに、区民の自主的なスポーツ、レクリエーション活動を促すことも指定管理者として重要な任務と考え、きめ細かいサポートを行います。

**(ア) 空き情報の発信**

館内掲示、ホームページ、携帯サイトで、随時各体育室の空き情報を提供します。横浜市市民利用施設予約システムに登録されている他のスポーツ施設の空き情報についても、お客様のご要望に応じ適宜ご案内します。



こまめに更新する空き情報

**(イ) 施設予約・お支払いのオリジナルサービス**

**前日・当日予約**

団体利用の前日・当日のご予約は、横浜市市民利用施設予約システムにより、スポーツセンター内の端末でなければ申し込みができません。私たちはお客様のご要望に応じ、利便性の向上を図ります。

**利用料金のお支払**

お支払いのために来館する手間を省くために、当日支払いを可能としました。また、支払に関しては、当体育協会が管理する15のスポーツセンターで、施設毎に支払いに向く手間を省く他施設分一括精算を可能としました。

第3期においても、この取組を継続します。

**(ウ) 懇切・丁寧な設営支援**

利用に際し必要となる器具や用具は、お客様による準備を基本としていますが、器具庫から体育室フロアまでの搬出は、安全管理のため職員が行います。バドミントンのコートなど設置方法がわからないと申し出があった場合は、職員が懇切・丁寧にサポートします。



大型器具のセッティング

**(エ) 競技団体やサークルのサポート(相談役)**

**競技大会等のサポート**

金沢スポーツセンターでは、区民大会等の会場サポートとして、主催者との事前打ち合わせを行っています。主催者によっては、準備や片づけに時間を要するため、開館時間を早めたり、時間を延ばすなど柔軟に対応しています。

開催に必要な各種事項を主催者と事前に確認することで、各大会の円滑な運営に向けて適切に支援します。



大会主催者との打合せ

大会等事前打ち合わせ	
打ち合わせ内容	スケジュール、用具備品貸出、減免書類、役員入り時間、来場者導線、駐車場案内、その他準備
支援内容	開館・閉館時間の調整、役員駐車場、大会プログラムへの助言、音響設備、大会PR支援、大会結果のホームページ掲載

## スポーツサークルへのサポート

日ごろからご利用いただいているお客様への感謝の意を込めて、還元イベント「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」を開催しています。そのプログラムの一つとしてサークルを対象とした発表会を実施しています。観客を前に日頃の練習成果を発表する場としてサークルの皆さまに好評をいただいています。

また、館内には各サークルのメンバー募集や対戦相手募集などについて、専用掲示板を活用し発信しています。これらの取組により、サークル間の交流・活性化に寄与し、継続的なスポーツ活動を支援します。



日頃の成果を発揮する  
ダンス発表



サークル掲示板

## (オ) Wi-Fi スポットの設置

金沢スポーツセンターは、年間約 20 回以上の競技大会会場となっています。そこで、試合結果のウェブ速報などに、インターネット接続環境を改善するために、新たに館内に Wi-Fi スポットを設けます。

今後、2020 年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機に増加すると予想される外国人利用者などにとって利便性の良い施設環境づくりを進めます。



さっぽろ健康スポーツ財団管理施設  
で視察したフリーWi-fi

## トレーニング室利用者への支援

時期や時刻を定めずいつでも利用することができるトレーニング室は、運動の機会を確保することが難しい現代人にとって、スポーツセンターで最も適したサービスともいえます。

私たちは第2期指定管理期間内に、女性や高齢者など誰もが使いやすいトレーニングマシンへの更新を行い、お客様を増やすことに成功しました。今後も区民の健康づくりにトレーニング室が有効に機能するよう次の取り組みを行います。

## (ア) 初めての方への対応

初めてトレーニング室を利用される方には、安全かつ効果的にトレーニングをしていただくため、事前に健康状態や目的をヒアリングにて把握します。その後、トレーニングマシンの使用方法の説明と目的に合わせたトレーニングメニューを作成し、2回目以降の継続利用を促します。これらの対応は、『トレーニング室運営マニュアル』に基づき実施します。

## (イ) スポーツ医科学に基づくトレーニング室のプログラム

### 運動療法でのサポート【再掲】

当体育協会が指定管理者となっている横浜市スポーツ医科学センターと連携し、指定運動療法施設としての機能を最大限発揮します。

内科及び整形外科的運動療法を受診したお客様がトレーニング室をご利用の際には、運動指導に関する専門資格を有した職員によるサポートを行います。また、体重や脂肪量などの体組成に関する健康情報を管理し、継続を促します。



減量プログラムちらし

### パーソナルトレーナーによるきめ細やかな運動指導

医科学的な専門知識と技術を有した施設トレーナーがお客様のニーズに合わせたトレーニングプログラムを提供します。個人的な運動指導となることで、これまで対応しきれなかった細部にまでこだわることができ、より理想的な体づくりが可能となります。※別途利用料金を徴収します。



パーソナルトレーニング

### スポーツ医科学に基づいたショートプログラムの開催

トレーニング室のオープンスペースで行うショートプログラムには、スポーツ医科学に基づくプログラムを取り入れて、安全で効果的なトレーニングを促します。

また、ショートプログラムは、指導員との接点を増やす機会となり、継続的なトレーニングにつながります。お客様のトレーニング目的に合わせてプログラムを定期的に更新するなど興味を持ち続けてもらう工夫をしています。



ショートプログラム

#### ■スポーツ医科学に基づくショートプログラムの主な内容

目的	横浜市体育協会・オリジナルプログラム
柔軟性向上	ペアによる全身ストレッチング(肩・腰・ひざ痛予防・改善)
ボディアライメント	ストレッチボールエクササイズ
基礎体力の向上	ショートサーキットトレーニング(筋力トレーニング+有酸素運動)
痛みの予防・改善	関節可動域の改善エクササイズ

## (ウ) 障がいのあるお客様へのサポート

横浜市には国内有数の障害者支援施設である障害者スポーツ文化センター横浜ラポールが設置されており、横浜市スポーツ推進計画では、スポーツセンターとの連携による障がい者スポーツの振興が謳われています。

年間6万人近くの方が利用する横浜ラポール内フィットネスルームと連携し、お客様の引き継ぎを行うほか、身体に障害のある方に不便なくトレーニングしていただけるよ



横浜ラポールでの定期研修

う、マシンスペースや導線の確保などの工夫を施し、継続的に運動ができる環境づくりを強化します。

### (エ) 継続を促すお得なサービス

私たちは、トレーニング室 10 回分の利用料金で 11 回分の利用ができるリライト式カードを販売しています。このカードは、当体育協会が管理するスポーツセンター共通のカードとし、利便性の向上と継続利用を促します。



リライトカード

## ウ 体育室の個人利用

予約の手間がなく、気軽にスポーツができる環境を確保するために、体育室の個人利用枠は、『金沢スポーツセンター業務の基準』の「利用枠設定」の考え方に沿って設定します。種目は、現在実施の卓球・バドミントン・バスケットボール等を引き続き実施します。

体育室での大会開催などで個人利用ができない日時を事前に告知するために、お客様向けの月間予定表を作成し、周知します。

個人利用予定表

## エ 豊かなスポーツライフのためのサービス拡充

### (ア) お客様カードの作成

当体育協会は、スポーツ施設の指定管理者として、フィットネスクラブのプログラムやサービス等、民間ノウハウを調査し、サービス拡大を図ってきました。フィットネスクラブで一般的な会員管理については、ご利用の平等性や公平性の確保など、公の施設であるスポーツセンターの事業設計に配慮し見送っていましたが、お客様からのご要望が多いのも事実です。そこで、第3期指定管理期間において、お客様カードによる顧客管理システムの導入を検討します。

本件については、金沢区の了承を得て実施します。

### (イ) スマートフォンからの教室・イベント申し込み

お客様がいつでも、どこでも思い立った時に、各種教室やイベントに申し込みができるよう、引き続きスマートフォンからの申し込みを可能とします。

### (ウ) 多様な決済方法

suica 等電子マネー決済は、金沢スポーツセンター指定管理第1期に導入し、お支払方法として定着しています。また、第2期は教室参加料のお支払にクレジットカード支払いを設け、お客様の好評を得ています。第3期指定管理においても継続して実施します。 電子マネー決済



## （エ）濱ともカード割引サービス

65歳以上の横浜市民に向けた優待サービスとして、横浜市健康福祉局が実施している優待施設利用促進事業に協力します。

## （オ）託児サービス 拡充

子育て世代のスポーツ教室参加者対象に、託児サービスを実施します。実施にあたっては、第3期指定管理期間において実績のある区内の保育ボランティアの協力を得ます。

また、横浜市こども青少年局子育て支援課が推進する子育て家庭支援事業「ハマハグ」の協賛施設として、お子様連れでも参加しやすい環境を整え、運動機会の乏しい子育て世代のスポーツ活動を支援します。



ステッカー掲示で  
子育て世代にアピール

## （カ）レンタルロッカーの設置

大型荷物やシューズなどの運動用具を保管できる各種サイズの月極ロッカー（500円～1,500円）を設置しています。今後は、ウォーキング・ランニングステーションとしてのサービス向上を図れるよう、収納性の高いロッカーへの更新を検討します。

### ■レンタルロッカー設置内容

大型	294×515×861	主にラケットや大型荷物の収納に便利
中型	294×515×427.5	主にボールやバッグの収納に便利
小型(1)	294×455×207.5	一般用シューズの収納に便利
小型(2)	294×455×420	ブーツ等の収納に便利



レンタルロッカー

## （4）健康な区民を増やすための広報と利用拡大策

当体育協会が、金沢スポーツセンター指定管理第3期のコンセプトに設定した「金沢区にスポーツの普及と健康づくりを推進し、区民のいきいきとした暮らしを実現するスポーツセンター」を実現するためには、スポーツセンターの認知度を高め、「来てみたい」と感じていただくための効果的な広報を戦略的に実施する必要があります。また、来ていただいたお客様のリピート率を高められる利用促進策によって、このコンセプトの実現につながっていくのだと考えます。

### ア 効果的な広報計画の展開

私たちは、当体育協会が持つ強力な組織力のもと、常に市民の視点に立った分かりやすい広報活動を展開することを念頭におき、効果的な広報計画を策定し実践します。

#### （ア）年間広報計画の策定

金沢スポーツセンター広報担当者が当体育協会本部の広報担当者と連絡を密にとり、教室や事業ごとの募集開始時期や進捗状況を踏まえたうえで、各種広報媒体を活用したタイムリーな情報発信や情報紙への情報提供など、計画的な広報活動を展開します。

■ 月別年間広報計画

媒体名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広報よこはま区版	教室 募集	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
新聞折込チラシ			★				★		★				★
タウン誌有利広告等				★		★		★					★
区内小学校・幼稚園・保育園						★			★				
その他(シサイドライン時刻表)		施設PR					★						
スポーツ情報誌『SPORTSよこはま』	イベント 情報												随時

(イ) 多様な媒体による広報

■ 「広報よこはま」の活用

自治会・町内会の協力によって毎月ほぼ全世帯(87,669世帯:H27.4.1現在)に配布される「広報よこはま金沢区版」は、多くの区民にとって最も身近で重要な広報媒体です。教室事業を告知し参加を促すための重要な媒体として掲載します。

■ ウェブサイトの有効利用

金沢スポーツセンターのホームページアクセス数は年間210,855件であり、主要な情報発信ツールです。施設情報は施設ブログ『かなスポ日記』などお客様に楽しんでいただけるコンテンツを週1回以上更新します。

さらに、当体育協会が運営している横浜のスポーツ情報サイト『ハマスポどっとコム』に事業紹介を掲載し、広く市民の方々に閲覧していただけるようにします。

施設ブログ「かなスポ日記」



■ 教室参加募集のちらし

事前受付教室の参加者募集や当日受付教室の案内等についてのチラシを年4回の定期教室募集時期に合わせて作成(毎33,900部)します。毎回33,900部の新聞折り込み広告を展開するとともに、500部を指導派遣先や幼稚園・小学校、区役所へ配布します。また、イベント等のちらしは手作りで作成し、自治会・町内会の回覧板での告知をお願いします。



当日受付教室のちらし

■ 金沢スポーツセンターリーフレット

金沢スポーツセンターの概要や利用案内を記載した施設パンフレットを高齢者にも見やすいデザインで5,000部程度作成し来館者等に配布します。各種教室事業の参加者募集チラシなどについては、当体育協会が運営する施設での配布のほか、市役所・区役所・地区センターなどの公共施設でも配布の協力を依頼します。



施設リーフレット

■ 地域情報誌への掲載

新聞購読者の減少を鑑み、折込ちらしだけでなく、教室募集期には各戸配布の「タウンニュース」「ぱど」などの地域情報誌を活用します。また、シーサイドラインの時刻表や区役所封筒など公共機関の媒体にも広告出稿し、積極的にPRを行います。

『タウンニュース』での記事広告

金沢スポーツセンター  
 ヨガで心身リラクセス  
 参加費400円から  
 金沢スポーツセンター 教室は曜日と時間帯別に  
 (長浜16の館)は現在、ヨガの参加者を募集し  
 ヨガの参加者を募集し、ヨガの参加者を募集し  
 50分、ヨガの参加者を募集し  
 1時間、ヨガの参加者を募集し  
 1時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 2時間、ヨガの参加者を募集し  
 2時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 3時間、ヨガの参加者を募集し  
 3時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 4時間、ヨガの参加者を募集し  
 4時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 5時間、ヨガの参加者を募集し  
 5時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 6時間、ヨガの参加者を募集し  
 6時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 7時間、ヨガの参加者を募集し  
 7時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 8時間、ヨガの参加者を募集し  
 8時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 9時間、ヨガの参加者を募集し  
 9時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 10時間、ヨガの参加者を募集し  
 10時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 11時間、ヨガの参加者を募集し  
 11時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 12時間、ヨガの参加者を募集し  
 12時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 13時間、ヨガの参加者を募集し  
 13時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 14時間、ヨガの参加者を募集し  
 14時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 15時間、ヨガの参加者を募集し  
 15時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 16時間、ヨガの参加者を募集し  
 16時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 17時間、ヨガの参加者を募集し  
 17時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 18時間、ヨガの参加者を募集し  
 18時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 19時間、ヨガの参加者を募集し  
 19時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 20時間、ヨガの参加者を募集し  
 20時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 21時間、ヨガの参加者を募集し  
 21時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 22時間、ヨガの参加者を募集し  
 22時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 23時間、ヨガの参加者を募集し  
 23時間30分、ヨガの参加者を募集し  
 24時間、ヨガの参加者を募集し  
 24時間30分、ヨガの参加者を募集し

館内の情報コーナー

ロビーや各所掲示板を活用し、区内・市内の他施設情報やスポーツイベントなどの各種パンフレットやチラシを配布、掲示します。

また、区内の子ども会や老人クラブ連合会、金沢区さわやかスポーツ等の地域の催し物情報をお伝えするインフォメーションコーナーを作ります。



情報コーナー

イ 組織力を生かした広報活動

(ア) マスメディアへの宣伝活動

今までに取材申し入れや情報提供等の関係がある、新聞各社、テレビ・ラジオ局などのマスコミと協力し、主催イベントの開催時や市民大会開催時に取材依頼し、取り上げられることで、当館存在を市内外に広くアピールしていきます。

報道各社に記事提供するにあたっては、直接の申し入れのほか、横浜市報道担当と協力し、市政記者発表の場を活用して行います。

(イ) 強固な情報ネットワークの活用

当体育協会は、スポーツに関する情報の収集・提供を基幹事業の一つとして、74の加盟団体をはじめとする強固な情報ネットワークにより、大規模イベントから地域のスポーツ情報まで取り扱っています。これらの新鮮なスポーツ情報を、スポーツ情報誌『SPORTS よこはま』（年6回・毎30,000部発行）や、スポーツ情報サイト「ハマスポ」などの媒体で迅速かつ効果的に発信します。金沢スポーツセンターでは、このネットワークを存分に活用して事業を展開します。



SPORTS よこはま

ウ 新たなお客様にお越しいただくために(集客計画)

(ア) キャンペーン企画

個人利用のお客様にポイントカードを配布し、ポイント付与に

キャンペーンカード

応じた還元サービスを行います。

平成 32 年度に金沢スポーツセンターは開館 35 周年を迎えることから記念キャンペーンを企画し、賑わいを創出します。

### (イ) 金沢スポーツセンターPRのためのタイアップ企画

金沢スポーツセンターに隣接する「長浜公園(運営:(公財)緑の協会)協力のもと、ウォーキングや公園遊具などを活用した事業を展開します。

また、観光名所めぐりを含めた地域活動団体とタイアップしたウォーキングイベントや屋内プール「リネツ金沢」と連携したポイントラリー、金沢動物園の協力のもと、子ども・親子・高齢者の世代交流イベントを開催し、相互の利用促進を図ります。



長浜公園とタイアップして公園遊具  
&ウォーキングの開催

### (ウ) スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催

日ごろより、スポーツセンターをご利用いただいているお客様への謝恩企画として、毎年、体育の日を中心に全市的に行っている「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」を開催します。今後のご利用のきっかけづくりとして、金沢スポーツセンターで普段開催している教室プログラムやトレーニング室を無料体験できる機会とします。また、総合型地域スポーツクラブ・金沢スポーツクラブと日頃の練習の成果等を発表する「ダンス発表会」を共同開催しており、金沢区のスポーツ振興の一翼を担っています。



スポーツレクリエーション  
フェスティバル 2014

### (エ) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会応援イベントの開催

2020年オリンピック・パラリンピックが横浜市からほど近い東京都で開催されるというまたとないチャンスを生かし、スポーツセンターにおいて機運醸成のイベントを開催することで新たなお客様が足を運ばれるきっかけづくりとします。

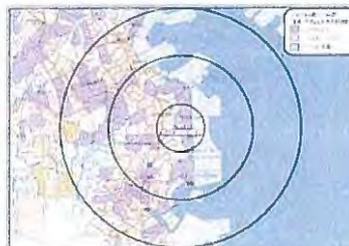
※57ページに詳しく掲載しています。

## エ 利用拡大のための重層的な分析

### (ア) 利用者以外のデータ収集

金沢スポーツセンターの利用拡大のためには、施設周辺の市場調査や当館を利用していない方の意見を収集し、調査することも重要です。

当体育協会では、横浜市に居住する満 20 歳以上の男女 1,100 人を対象に「横浜市スポーツ意識調査」を



金沢スポーツセンター3km圏の地域

実施しています。その中で、金沢区居住者に限定したデータ収集を行い、スポーツセンターの事業立案に活用します。さらに、民間の市場調査会社が運用する商圈分析サービスを活用し、重層的な調査による正確かつ客観的データを収集・分析することで、私たちが実施する利用者調査ではわからない非利用者の分析に活用します。

## （イ）利用統計システムの活用

### お客様カードの導入による利用促進【再掲】

私たちは、教室事業等へのお申し込みにあたり、毎回住所やお名前を記載する手間を省く利便性の向上と、ご利用情報の有効活用のために、お客様カードの導入を検討します。カード登録者には定期教室の募集開始をメール配信するなど、お客様への情報提供を行います。

公共スポーツ施設で顧客管理システムを導入した実績のあるシステムベンダーに開発を依頼するとともに、他都市のスポーツ施設等での導入実績を調査し、進めています。なお、導入にあたっては金沢区の了承を得ることとします。

### 利用統計情報を活かした分析

当体育協会が管理するスポーツセンターでは、無料・有料に関わらず全てのご利用状況を正確に把握するために、独自の利用統計システムを活用し、データ集計及び報告書を作成しています。平成17年度から保有するデータベースと、新たに機能追加する顧客管理により、利用者数や収入などの数値目標の適正な管理に役立つほか、キャンペーン企画やメール配信の効果的な時期を図る判断材料として活用します。

利用統計画面

## オ ウォーキング・ランニング事業の推進

### （ア）ウォーキング事業

ウォーキングすることで健康になれば、医療費が抑制できるという発想から、厚生労働省の研究班が生活習慣病予防を目的に“一步の価値”を試算した結果もあります。ウォーキング事業によって横浜市の施策でもある“健康寿命日本一”に貢献します。

### 日本ウォーキング協会認定コースへの登録 新規

日本ウォーキング協会では、国際市民スポーツ連盟（以下、IVV）のウォーキング規則に則り、全国各地で安全で楽しく歩くことのできるウォーキングコースを認定しています。

金沢スポーツセンターでは、当体育協会オリジナルのウォーキングコース及びウォーキング基地としての認定を申請し、ウォーキング愛好者への利用促進を図ります。



国際市民スポーツ連盟認定証

## ウォーキングセミナーの開催

歩行の基礎についての講義や、効果的なウォーキング方法を体験することが出来るウォーキングセミナーを開催します。協力会社であるアシックスの専属スタッフ等が講師の中心となり講義を行うほか、当体育協会で養成した『ウォーキングリーダー』がセミナーをサポートします。

### ウォーキングセミナー実施概要

- 対象:成人(1講座100名募集)
- 実施:年1回、2時間程度
- 内容:講義(体育室)  
「ウォーキングの基礎知識」・「シューズの選び方」など  
実践(体育室及び長浜公園内)  
「シューズの履き方」「正しい姿勢づくり」  
「正しい歩き方」「実際にウォーキングしてみよう」



日本ウォーキング協 による  
ウォーキングセミナー

## ウォーキング・ランニングステーション機能の強化

金沢区民の健康増進に寄与するために、私たちは第2期指定管理期間に、ランニング・ウォーキングステーションサービスを開始しました。スタート・ゴール地点としてロッカーやシャワーを貸し出す他、スポーツセンターを基点としたオリジナルマップの配布などを行っています。

横浜市ウォーキングポイント事業の盛況さからもうかがえるウォーキングブームを反映し、次の指定管理期間においては、ステーション機能を強化し、市民ニーズに応えます。



当スポーツセンター周辺の  
コースを紹介

### ■ステーションで提供するサービス(1回100円)

- ・ロッカー・シャワー利用、オリジナルマップ配布
- ・オプションサービス(有料):ノルディックウォーキングスティック、健康チェック

## ウォーキング指導者資格の取得 新規

日本ウォーキング協会認定の指導員資格を施設職員が取得し、ウォーキング教室やウォーキングイベントを開催します。

## (イ) ランニング事業

### ランニングクリニックの開催

金沢区の恵まれた自然環境の中で、これからランニングを始めたり、フルマラソンへ初挑戦する市民を対象として、アシックス株式会社の専属スタッフ等を講師とするランニングセミナーを開催します。金沢スポーツセンターのお客様だけでなく、各スポーツセンターで足型計測会を実施し、広く参加を呼びかけます。

### ランニングセミナー実施概要

- 対象:成人(1講座30名程度)
- 実施:年1回、2時間程度
- 内容:講義(体育室)  
「ランニングの基礎知識」・「フルマラソンに向けた練習方法」など  
実技(体育室及び長浜公園)  
「体育室内でのストレッチや筋トレ、ウォーミングアップ」  
「長浜公園を使ったランニング実践講座」



アシックス専属講師による  
ランニングセミナー

### 横浜マラソン・チャレンジ枠講座

市内各区に横浜マラソンへの出場枠を割り当てる「横浜マラソン・チャレンジ枠」企画に伴い、金沢スポーツセンターでは、ランニング講座を実施しました。今後も、当体育協会では、ランナーに適切なトレーニング指導など、金沢区民ランナーにとって役立つ企画を開催していきます。



金沢区民チャレンジ枠ランニング講座 (H26年12月)

## (5) 金沢区民の心身の健康に資する教室事業の展開

### ア 教室事業の考え方～金沢区の特徴とお客様ニーズを反映します～

#### (ア) 金沢区民の人口特性を活かした教室設計

金沢区の老年人口割合は26.1%であり、今後もさらなる高齢化が見込まれています（横浜市人口ニュースより）。

私たちは平成27年度金沢区運営方針である「訪れたい、住みたいまち・環境未来都市 金沢」の一助となり、今後の高齢社会に向けての取組として、高齢者を対象とした体操教室や転倒骨折予防などの健康づくり教室を重点的に実施します。また、育児がしやすく、子どもが健やかに育つ環境づくりについても目を向けた教室事業を実施します。

#### (イ) 参加者の目的に沿った教室内容の検討

金沢スポーツセンターの教室には、毎年延べ約52,000人のお客様が参加されます。平成26年度に行った横浜市民スポーツ意識調査では、運動の実施理由は「健康・体力の維持・増進」が最も多く、次いで「気分転換・ストレス解消」、「運動不足から」という結果となっています。

教室内容は、お客様の目的に沿うよう指導計画に反映させるとともに、ご参加の目的を達成することにより、満足度の高い教室プログラムを実現していきます。



平成26年度横浜市民スポーツ意識調査

#### (ウ) 新たな教室プログラムの導入

トップアスリートのプレーは、新たなスポーツ関心層を増やし、スポーツを行うきっかけづくりとして最適です。また、子どもの頃見たトップアスリートのプレーは、大人になっても印象深いものであり、生涯にわたってスポーツに親しむ動機づくりになります。

私たちは、アシックスや日本体育大学との協



トップアスリートが多数所属する  
アシックスジャパン株式会社

力関係のもと、オリンピックやパラリンピアンと触れ合い、プレーを間近で観戦できる教室や足型測定会を実施します。これらの新たなプログラムの導入により、新たなお客様を開拓します。

また、公益社団法人日本フィットネス協会の協力を仰ぎ、各地で人気の最新フィットネスプログラムの導入を検討します。



日本体育大学  
当体育協会  
(社会貢献推進事業協定書の調印式)

## イ 金沢スポーツセンター教室計画 拡充

前述のお客様ニーズや金沢区特性に対応し、多様な教室プログラムを設定するとともに、多彩な講師陣による魅力あふれる教室を展開します。

### (ア) 定期教室

#### 幼児期からジュニアまでの教室

横浜市スポーツ推進計画では、スポーツをしない子どもに対して運動習慣を幼児期から身に付ける取組を行います

幼児体操教室(5・6歳児)①②	40人	60分	ボールや体操用具を使った運動を通して体力向上を図ります。
ヒップホップダンス(幼児)	25人	60分	音楽に合わせて楽しく体を動かし、リズム感を養います。
ヒップホップダンス(小1～3年生)	25人	60分	
苦手チャレンジ体操教室	35人	60分	鉄棒の逆上がりや跳び箱など、苦手種目に挑戦します。
横浜FCサッカー教室(5・6歳児)	30人	60分	横浜FCコーチによるサッカー教室です。基礎技術を習得しながら、仲間づくりを行います
横浜FCサッカー教室(1・2年生)	30人	60分	
子どもバドミントン教室	40人	75分	基礎技術からゲームまで、段階に合わせて技術を習得します。
子ども野球教室	20人	60分	キャッチボールからバッティングなど基礎技術を習得します。

#### 16歳以上対象の教室(スポーツ・フィットネス)

基礎体力の維持・向上、仲間づくり、基礎的な競技テクニク習得を目的に、運動の習慣化を促すプログラムです。

バドミントン	66人	105分	基本技術からゲーム・審判法の習得を目指します
バドミントンリーグ	22人	105分	バドミントンのゲームを中心に技術向上を目指します。
社交ダンス(初心者)	50人	90分	初めて社交ダンスをされる方を対象に基礎技術の習得をします。
社交ダンス(初級者)	50人	90分	中級へのステップアップ向けの基本技術の習得を目指します
社交ダンス(中級者)	50人	90分	中級者向けの方を対象に、様々な応用技術の習得を目指します
太極拳(火)(金)	80人	90分	中国発祥の太極拳を通じ、健康体力づくりを行います
フラダンス(水曜①②)	40人	75分	フラダンスを基礎から学びます
フラダンス(木曜)	60人	90分	中級レベルのフラダンスを学びます。
卓球①②	84人	105分	ゲームを楽しむための基本技術の習得を目指します
卓球リーグ	45人	105分	ゲームを中心に様々な方と対戦し、技術向上を目指します。
朝ヨガ	40人	50分	基礎ポーズを学びます。
コースヨガ	40人	60分	基礎から様々なポーズまで学ぶことができます。
やさしいヨギング講座	10人	90分	楽しみながら基礎中心に走り方の技術を習得します。
<span style="background-color: #f0f0f0; padding: 2px;">新規</span> 姿勢デザイン	30人	60分	姿勢を測定し、歪み改善のための様々なトレーニングを学びます

## 健康づくり・シニア対象教室

ロコモティブシンドローム対策や転倒骨折予防を念頭に置いた介護予防プログラムをリスク管理に十分配慮し実施します

リハビリ体操(体力維持向上)	10人	50分	身体に障がいをお持ちの方を対象にリハビリ体操を行います
リハビリ体操(肩腰膝改善)	18人	50分	イスに座りながら、肩・腰・膝の悩みを改善する運動を行います。
らくらく体カづくり	18人	60分	座ってできる要介護にならないための健康体操を行います。
しっかりした足腰づくり	60人	60分	ウォーキングなど足腰の運動を行い転倒骨折への予防をします。
女性健康体操	60人	90分	女性のための楽しい健康体操プログラムです。
はつらつ体操	90人	90分	エアロビクス運動やニュースポーツなど取り入れて体力維持を図ります。
生活習慣病予防教室	50人	60分	有酸素運動や筋力トレーニング等で生活習慣病の予防を図ります。
健康体操タイム	18人	50分	イスに座りながら簡単な体操で体力向上を図ります。
肩膝腰痛予防体操	18人	50分	筋肉の凝りをほぐしながら、関節痛などを軽減し予防します。
<b>新規</b> ウォーキング姿勢教室	20人	60分	ウォーキングでの正しい姿勢作りや補強運動を行います

## 乳幼児や子育て世代の教室

乳幼児の成長過程に重要な親とのスキンシップを図るプログラム。

親子リミック教室	30組	60分	親子で様々なリズムに合わせて身体を動かします。
親子体操教室	40組	75分	親子で体操用具や遊びを通して身体を動かします
ベビーヨガ	10組	60分	親子でヨガを通して、心身ともにリラックスします。

## カルチャー教室

文化的な活動を行い、豊かな心を養い心身のリフレッシュを行います。

健康マージャン	30人	90分	認知症予防に良いと言われているマージャンの基礎を学びます。
水墨画入門	25人	110分	墨の濃淡で鳥や花など描写する水墨画の初歩技術を習得します。
絵手紙	25人	90分	絵手紙に基礎を楽しく学びます。
はじめての水彩画(入門)	20人	100分	筆や絵具の使い方から着色まで楽しく学びます。
子どもアトリエ	20人	60分	創作を通して感性を豊かにして、表現力を育みます。
子ども書道	25人	60分	書道を通じて作品をつくりながら豊かな心を育みます。

## (イ) 当日受付教室

予約なしの気軽に参加できるプログラムです

らくらく骨盤体操	20人	50分	骨盤や肩甲骨周りを動かし全身の調整を行います
しっかりエアロ	60人	60分	シェイプアップや日頃のストレス解消に身体をハードに動かします。
らくらくエアロ	60人	45分	初めての方を対象に、楽しく身体を動かします。
モーニングボクサ	60人	60分	ボクシングの動きを取り入れながら、シェイプアップを目指します。
ほぐしストレッチ&ヨガ	60人	50分	身体をほぐしながらヨガを楽しみます。
リラヨガ	60人	50分	日頃のストレスを取り除き、心身のリフレッシュを図ります
しっかりヨガ	13人	60分	シェイプアップに効果的なヨガです。
フットサルタイム	30人	100分	当日に集まった方でチームを作り、ゲームを中心に楽しみます
健康体操タイム	18人	50分	イスに座りながら簡単な体操で体力向上を図ります。
肩膝腰痛予防体操	18人	50分	筋肉の凝りをほぐしながら、関節痛などを軽減し予防します。
<b>新規</b> ストレッチボールタイム	30人	30分	ストレッチボールを使って、日頃のゆがみを整えます。

## (ウ) 週間スケジュール

曜日	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
月																	
火																	
水																	
木																	
金																	
土																	
日																	

## (エ) 多様な教室事業の形態

### 基本の教室形態

子育て世代からシニアまで多世代のお客様にご用意する教室プログラムを、お客様が効率よく目いっぱいご利用いただくために、次の形態で構成します。

定期教室 (事前受付)	参加者を事前に募集し、一定期間継続的に行うことで、基礎技術や知識を段階的にの習得するとともに、共にスポーツに親しむ仲間づくりを促進します。
当日受付教室	色々な教室に参加したい方、都合に合わせて参加したい方のために、事前の申し込みなく参加できることで、運動の機会を確保します。
短期教室 (事前受付)	参加者を事前に募集し、夏休み・冬休み期間を利用した教室事業を実施することで、スポーツ・文化活動の生活化・日常化を促します。

### 初めての方も安心して通っていただくための「教室体験会」

全 10～12 回開催する定期教室は、競技スポーツからシニア向けなど多彩なプログラムです。私たちは、定期教室をご検討の方に体験会を開催し、内容や運動量などの不安を解消したうえでご参加いただきます。

### 遠方のお客様に向けた他施設での教室展開

区民の健康づくりを担う当体育協会は、金沢スポーツセンターでの運動機会の提供だけではなく、スポーツセンターから離れた地区にお住まいの方に向けて、地区センターや地域ケアプラザ、自治会館等を会場とした健康づくりの活動を地域の方々と連携して開催することにより、区全域にわたって健康づくりを支援します。



さくら茶屋・ほっとサロン主催の健康体操  
西柴団地自治会館にて

## ウ 満足度の高い教室事業のための仕組み

教室に参加するお客様の目的は、健康増進や競技力アップ、またストレス解消など様々です。多様なお客様に対して満足度の高いプログラムを提供することは、これまで金沢スポーツセンターを管理運営してきた中で、年々その難しさを感じています。

この課題をクリアするためには、私たちは絶えずお客様の声を聞く機会を確保し、それを講師とともに改善するという PDCA サイクルを根気よく続けることが最も重要であると考えています。しかし、教室内容の細かな改善だけでは、いずれはお客様の満足度は低下し、運動の継続につながらないこともまた事実です。

私たちは、教室事業の PDCA サイクルの徹底と併せ、新たなフィットネスプログラムの導入など、フィットネス市場の動向にも目を向け、参加者を飽きさせない工夫を絶えず行います。

## （ア）教室の企画から改善まで 徹底したPDCAサイクル

### 定期教室参加者への効果測定

運動の機会を絶たず継続率を高めるために、プログラムの一部に健康・体力増進の効果測定を用います。定期教室初回時と終了時の数値を比較し、効果を実感することで継続の動機になります。



姿勢測定

### レッスン内容のモニタリング

教室ごとのレッスン計画に基づき、各回のプログラムや指導方法の留意点を記した指導案を作成します。外部講師による指導は、各回終了後に職員が報告を受けるほか、プログラムのマンネリ化、参加者への不適切な言動が無いように、連絡シートによる指導者との情報交換を毎回行っています。



教室指導者との連絡シート

### 新たなプログラムの導入とリニューアル

当体育協会では、プログラムのマンネリ化防止や定員に対して基準の充足率に満たない場合は、定期教室開催中にアンケートでの参加者の声を把握し、次の期には改善・プログラムの変更を図ります。

また、スポーツセンター全体の顧客満足度の低下につながらないように、お客様ニーズの変化に対応したトレンドのプログラムなどの新規教室に切り替えます。プログラムについては、公益社団法人日本フィットネス協会等の協力を仰ぎ、企画していきます。



新たに導入したプレコリオプログラム  
（平沼記念体育館）

### 定期教室修了者の継続を促すサポート

定期教室の参加者は、初めてお申込みされる方を優先するため、定期教室修了後のお客様への提案として、区内に活動拠点がある団体やサークルを紹介し、地域コミュニティでのスポーツ活動を啓発していきます。また、当日受付教室では、運動強度の差をつけたフィットネスプログラムを開催し、継続的に運動できる環境を用意します。

## (イ) プログラムに合わせたインストラクターの配置

### 当体育協会のインストラクター

健康づくりプログラムや子どもの体力向上や競技力向上のための最新のプログラムを導入したジュニア教室については、当体育協会職員がレッスンにあたります。教室だけでなく、トレーニング室のインストラクターも兼ねるため、お客様に親しみを感じていただきやすいことに加え、よりお客様のニーズに応じた運動プログラムを一貫して提案することができます。

障がい者対象の教室については、これまで横浜市障害者スポーツ文化センター横浜ラポールの指定管理者である横浜市リハビリテーション事業団の協力を仰ぎ、指導ノウハウを吸収してきました。今後も定期研修等で協力関係を強化し、指導技術の向上を目指します。



石淵職員による  
苦手チャレンジ体操教室



宮城副所長によるリハビリ教室  
(体力維持向上)指導

### 専門性のある外部講師

スポーツセンターで開催するバドミントンや卓球などの競技種目教室は、専門知識や指導経験が豊富な市体育協会・区体育協会などに所属する指導者に依頼します。

また、地元出身のオリンピックや横浜のプロスポーツクラブ(横浜 F・マリノス、横浜 FC、横浜ベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)のプロコーチや選手を招へいし、トップスポーツ界での活躍経験がある方からの指導により、競技への関心を高めることができます。

#### ■指導実績のある団体

団体名	指導教室
横浜市太極拳協会	太極拳教室
横浜市卓球協会	卓球教室
横浜市バドミントン連盟	バドミントン教室
横浜F・マリノス	ふれあいサッカー教室
横浜FC	子どもサッカー教室

### 地域人材の積極的な登用

金沢区体育協会、横浜市指導者養成講座修了生、横浜市スポーツ人材活用システムに登録する地域の方々へ、各種教室の講師や運営補助従事者として協力をお願いしていきます。



地域人材を登用した教室

## エ 安心の教室運営のために

### (ア) 外部講師への教育

金沢スポーツセンターで計画する 71 種の教室を安全に行うためには、外部講師への安全教育は、特に徹底す



教室指導前の確認

る必要があります。それだけでなく、公共サービス従事者としての心得やスポーツセンターの設置目的等を十分に理解し、指導にあたることも求められます。

当体育協会では、外部講師に対して次の事項を確認し、プログラムの安全性と高いサービス性を確保しています。

#### ■ 外部講師との確認事項

契約時 (年1回以上)	・緊急時の対応(誘導班、避難経路の確認) ・施設の運営方針、接遇マナー、モニタリングへの参画など公共サービス従事者としての心得 ・個人情報の取り扱いに関する誓約書 ・資格書類、健康診断の確認
月始め	・AED訓練
出勤時	・教室参加者からのご意見・お褒めの言葉、アンケート結果等 ・施設からのお知らせ

### (イ) 保険加入

スポーツ教室のプログラムや指導は、安全面を十分に配慮していますが、万が一の事故に備えて、全ての教室参加者を対象に傷害保険に加入します。教室開催中におきた怪我を傷害保険の範囲内で補償します。

### (ウ) 荒天予報時等の対応

台風接近や大雪などの荒天により金沢スポーツセンター最寄りの公共交通機関がマヒした場合は、原則として教室開催を中止または順延とします。

定期教室へ参加されているお客様に対しては、ホームページでの注意喚起に加え、電話連絡や電子メールによる連絡を確実に実施します。

## オ 教室への参加方法

### (ア) 定期教室

#### ■ 多様な応募方法

当体育協会が独自に開発したインターネットでのお申込みに加え、スマートフォンからのお申込みできるシステムを開発します。インターネット環境に不慣れな方のために、従来から続く「往復はがき」での申し込み方法も継続して行います。

#### ■ 参加決定方法

参加者を公正に決定するために、定員を上回る場合は「市内在住・在勤・在学者で初参加」を優先し、公開抽選を行います。抽選の際は、当選者だけを決定するのではなく、キャンセル待ちの順番を決定することで、当選者がキャンセルした場合に繰上当選となり、スムーズに参加できるよう柔軟な仕組みとします。

#### ■ 定員に満たない場合

募集時に定員に満たない教室は、「追加募集」として、開催初日まで電話や来館により受付します。  
教室開始後は、途中参加が可能な範囲で参加できます。

■ キャンセルの方への対応

料金支払済みの参加決定者が、ご自身の都合によりキャンセルする場合は、「本人が急な病気や怪我をした場合」など、教室事業基本マニュアルに則り、柔軟に対応します。キャンセル待ちがある教室は、線上当選の連絡を迅速に行います。

■ お支払について【一部再掲】

参加料支払のためだけに来館する手間をなくすために教室開催初日まで参加料のお支払いを受け付けます。お支払いは、現金やSuica・PASMOの電子マネーのほか、インターネット申込みの方には、クレジットカードによる支払(ネット決済)がご利用いただけます。

(イ) 当日受付教室

「今日は時間が空いたから運動したい!」「興味がある」「気分転換したい」という方が、気軽に参加できるように、先着順による当日申込みの教室を開催します。人気の高い「らくらく骨盤体操」や30分単位の「ポールストレッチタイム」など金沢区民の多様な生活習慣に対応し、区民のスポーツ参加機会を増やせるよう拡充していきます。

(6) 自主事業について

金沢区民のスポーツへの参加機会を増やすため、これまで基本開館時間や開館日の拡大、教室事業の拡充などに取り組んできました。また、お客様サービスとして、レンタル・物販サービスや自動販売機を設置し、その収益を指定管理事業に充当してきました。

今後は、お客様の利便性向上や施設特性に応じた新たなサービスによる利用者拡大を図り、指定管理料の縮減につなげていきます。

ア 利便性向上のために拡充するサービス

私たちがこれまで実施した次の自主事業について、お客様の利便性向上やお客様支援の観点から次の事業を継続・拡充して実施します。

(ア) 開館時間、開館日の拡大 拡充

第2期指定管理期間に引き続き区民の利用機会拡大のため、月曜から土曜までの夜間と、日曜・祝日の早朝の開館時間を延長することで、スポーツ・運動の実施機会の提供を拡大します。また、現在の12月29日から1月3日までの年末年始の休館日について、地域やお客様のニーズを把握したうえで、12月29日の開館日拡大を実施します。



## (イ) レンタル事業の拡充

スポーツセンターご利用への手軽さを高め、より気軽にお越しいただけるように、第2期指定管理期間には11点のレンタル品を取り扱ってきました。

第3期指定管理期間においては、多様なお客様の利便性を高め、かつシューズ等は機能性の高いものを取りそろえ、レンタル品を拡充していきます。



レンタル用品

## (ウ) ニーズに即した自動販売機の設置

お客様に身近な飲食機会を提供するため、引き続き自動販売機を設置します。現在、自動販売機は電子マネー端末併設、バリアフリー対応機や災害時における飲料無償提供機など、付加機能を備えた機種を設置しています。なお、現在設置の自動販売機は災害時支援の機能を備えており、最大252本の飲料を提供することができます。



災害支援自動販売機

## イ 空間を有効活用した自主事業 新規

金沢スポーツセンターには、年間延べ24万人以上のご利用があり様々なスポーツ種目を開催する中で、これまでの販売物品は卓球ボールやシャトルなどに限定し、魅力的な商品群を揃えられていませんでした。

今回、スポーツショップと連携し、運動用具だけでなく、シューズやサプリメントなど高機能で魅力的な商品をそろえたスポーツ用品のショップを館内ロビーの一面に設置します。

出店にあたっては、事前に金沢区から行政財産目的外使用の許可を受けます。



ショップイメージ(横浜国際プール)

## ウ 地域への派遣事業

金沢区のスポーツの振興と健康づくりを推進する金沢スポーツセンターのコンセプト実現のために、地域に向いた派遣事業を実施します。

また、町づくり健康づくり事業など、金沢区の健康づくりに関する取組みに積極的に参画します。

※98ページに詳しく掲載しています。



阿王ヶ台自治会館での体操指導

## (7) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた取組

2020年にオリンピック・パラリンピック東京大会が開催されることが決定し、東京近郊の横浜においても、大会前の練習場として、各施設が利用される可能性が高くなりました。

私たちは、横浜市や各種目団体との協力とともに、区民の皆さまに世界的なスポー

ツの祭典の素晴らしさをお伝えし、将来のアスリートを志す子ども達に夢と感動を与えられるようにします。また、市体育協会の組織力を活かし、オリンピック・パラリンピックの出場経験等を持つトップアスリートを招いたスポーツ体験や国際交流イベントを積極的に行っていきます。

## ア 日本オリンピック協会への加盟と協力

当体育協会では、特定非営利活動(NPO)法人日本オリンピック協会の会員として職員を登録しています。

オリンピック・パラリンピックの開催機運を横浜でも盛り上げていくために、担当職員を通じて金沢スポーツセンターを使った啓発事業を誘致します。

## イ 「アシックス」との共催によるオリンピック・パラリンピック企画 新規

「アシックス」と共催し、同社契約のトップアスリートを招聘して、東京2020オリンピック・パラリンピックの盛り上げイベントを実施します。トップアスリートのプレーを観たり触れ合うことにより、東京2020の機運を盛り上げるとともに、子ども達に将来の夢や感動を与えます。

(イメージ)  
オリンピック



## ウ 横浜市体育協会の組織力を活かした応援事業 拡充

私たち体育協会では、市民アスリートが参加する競技大会から世界のトップアスリートが集まる世界大会まで、その運営を競技団体とともに運営しています。私たちは、金沢区の皆さまに向けて、スポーツセンター周辺の金沢の環境を活かした競技を対象に応援事業を行うことで、オリンピック・パラリンピックスポーツをより身近に感じていただけるよう開催します。応援事業ではトップアスリートを招いたイベントのほか、当協会加盟の競技団体との連携により、体験イベントを開催します。



トライアスリート選手

オリンピック・パラリンピックスポーツをより身近に感じていただけるよう開催します。応援事業ではトップアスリートを招いたイベントのほか、当協会加盟の競技団体との連携により、体験イベントを開催します。

### ■金沢スポーツセンター応援競技

競技	当体育協会の運営実績
トライアスロン	2015世界トライアスロンシリーズ横浜大会 横浜シーサイドトライアスロン大会
ビーチバレー	YOKOHAMAビーチスポーツフェスタ内ビーチバレー大会

## エ 横浜子どもスポーツ基金を活用した啓発事業

「横浜子どもスポーツ基金」は、ジョンソン株式会社との協力関係のもと、障がいのある子ども達や、恵まれない環境にある子ども達を対象に、横浜のスポーツを通じて支援・援助することを目的に助成金を支出するもので、当体育協会が事務局本部を担って運営しています。

オリンピックやパラリンピックを身近に感じてもらう



体操オリンピックメダリスト  
体操教室  
(H26.1 北綱島小学校)

ことで、子ども達に将来への夢を持ってもらえるように、同基金を使った啓発イベントを実施します。

## オ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会のPR 新規

ロビーや館内掲示板での2020年オリンピック・パラリンピック東京大会コーナーを設置します。開会式までのカウントダウンボードや最新情報、そして金沢区や横浜市出身の出場選手の応援コーナーを設け、開催に向けた盛り上がりの後押ししていきます。



サッカーワールドカップの応援コーナー

## (8) 安心・安全で実行力ある業務履行体制

金沢スポーツセンターの管理運営業務において、当体育協会は、安心・安全な管理運営はもとより、当体育協会の総合力を最大限に発揮し、実行力をもって前述の提案を実現していきます。

### ア 金沢スポーツセンターの管理運営体制

#### (ア) 推進力ある職員体制

##### 責任者の配置

統括責任者に所長を配置します。所長は、金沢スポーツセンターの管理運営の最高責任者として施設管理・運営全般に精通し、金沢区のスポーツ振興を推進するための調整能力に優れた者とします。最大14時間になる一日の開館時間とスポーツセンターの事業規模を考慮して、管理運営責任者として副所長を配置します。副所長は所長の補佐役とし、所長不在時には所長代理を務めます。

「金沢区にスポーツの普及と健康づくりを推進し、  
区民のいきいきとした暮らしを実現するスポーツセンター」  
金沢スポーツセンター職員

<p>■所長(統括責任者) スポーツ施設運営従事10年以上の経験者を配置。 区等関係機関の窓口、スタッフの業務管理、目標・予算管理。 □主な取得資格 体育施設管理士、防火管理者、スポーツプログラマー、 健康運動指導士、応急手当普及員、中学体育教員免許等</p>	
<p>■副所長(運営責任者) 健康づくり事業担当として、豊富な運動指導の経験がある者を配置。 接遇トレーナー、トレーニング室責任者 □主な取得資格 健康運動指導士、スポーツプログラマー、応急手当普及員、 中高体育教員免許等</p>	
<p>■事業担当(主な業務) 教室全般・イベント事業等</p>	
<p>■管理担当(主な業務) 維持管理、経理、文書整理</p>	
<p>■運営担当(主な業務) 広報・トレーニング室の管理運営</p>	

■金沢スポーツセンタースタッフが保有する資格一覧

応急手当普及員(4名)、スポーツプログラマー(2名)、健康運動指導士(2名)、体育施設管理士、中学校高等学校・保健体育教諭一種免許状(2名)

主幹業務に精通した資格者の配置

所長、副所長、運営担当者と事業担当者の5名の常勤職員を配置します。常勤職員全員が応急手当普及員を取得します。さらに、専門スタッフとして最少11名・最大15名(週間平均人数13名)の非常勤職員を配置し、金沢スポーツセンターの管理運営業務を遂行します。

専門スタッフの配置(サポートスタッフ、トレーニング室スタッフ)

お客様が常に快適で、安全にご利用いただけるよう各セクションのスタッフを配置します。受付や事務業務はサポートスタッフと呼び、施設案内だけでなく金沢区内のスポーツコンシェルジュとして、主に近隣地域の人材を積極的に採用します。

トレーニング室スタッフは、マシン利用のサポートやショートプログラムを担当するため、当体育協会が定める指導水準に達するようトレーニング室責任者(副所長)が監督します。



並木中央小学校・「みまもりかい」で活動のサポートスタッフ



生活習慣病予防教室で体操指導をしているサポートスタッフ



トレーニング室スタッフ

(イ) 健康増進の専門性を取得する施設職員研修

横浜市スポーツ医科学センター専門職員による研修

指定運動療法施設として取組む運動療法には、医師の指示書に基づく運動プログラムの作成や高度なリスク管理など、スポーツ医科学に関する専門性を要します。

当体育協会が管理運営する横浜市スポーツ医科学センター配属の医師や理学療法士、スポーツ科学員を講師として、専門研修を実施します。



画像解析による測定研修

当体育協会本部指導部門による運動指導スキルの徹底

多世代対象のスポーツ教室や、トレーニング室では初心者から競技力向上を目指すお客様など、当館は多種多様な運動目的でご利用いただける施設です。身体特性や運動継続、仲間づくりの視点など様々な対応ができるよう、当体



教室指導者研修会

育協会本部指導部門の健康づくり事業課によるスキルアップ研修を行います。

健康づくり事業課は、指導スキルの水準や研修内容が実践されているかの確認のために覆面調査を行うことで、運動指導と接遇の高いスキルを維持します。

また、これらのスキルアップや新規プログラムの導入の検討の場として教室指導研修会を実施します。

### その他の研修計画【再掲】

ホスピタリティあふれるサービスを提供するために、様々な職員研修に取り組みます。当体育協会の研修体系に沿った研修のほか、金沢スポーツセンターでは、心肺蘇生法及びAED操作の訓練、ノーマライゼーション研修、また人権問題や環境問題をテーマに行います。

### (ウ) 職員ローテーションについて

勤務ローテーションは、労働基準法などの関連法令を遵守した適正な職員配置とします。なお、所長不在時に事故や事件、災害などが発生した場合は、緊急連絡網を用いて所長や当体育協会本部担当者に連絡し、一次対応に遅れが生じないようにします。

■月曜から土曜までの勤務体制（利用時間 9:00～23:00）

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
所長																	
副所長																	
管理担当者																	
運営担当者																	
事業担当者																	
受付スタッフA																	
受付スタッフB																	
受付スタッフC																	
受付スタッフD																	
受付スタッフE																	
受付スタッフF																	
トレーニングスタッフA																	
トレーニングスタッフB																	
トレーニングスタッフC																	
事務スタッフA																	

■日曜日・祝日の勤務体制（利用時間 7:30～21:00）

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
所長																	
副所長																	
管理担当者																	
運営担当者																	
事業担当者																	
受付スタッフA																	
受付スタッフB																	
受付スタッフC																	
受付スタッフD																	
受付スタッフE																	
受付スタッフF																	
トレーニングスタッフA																	
トレーニングスタッフB																	
トレーニングスタッフC																	
事務スタッフA																	

### (エ) 「アシックス」によるスポーツコンテンツの提供

金沢スポーツセンターが区のスポーツ拠点として最大限の効用を發揮するために、私たちは国際的なスポーツメーカーであるアシックスを協力会社として迎えます。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックゴールドパートナー（スポーツ用品）であるアシックスは、オリンピック等のトップアスリートのイベントや、ランニング事業、またジュニアスポーツなど、豊富なコンテンツを存分に生かした事業を担います。

### （オ）「株式会社キョーエーメック」によるハイレベルな維持管理業務

築 35 年を迎える金沢スポーツセンターでは、各種設備の老朽化が進行し、お客様の安全の確保のために費やす時間は年々増加しています。

当体育協会は、市民サービスの向上とおお客様の安全利用を確保するために、施設の維持管理業務の専門業者を協力企業とします。

協力企業については、全国の公共スポーツ施設の管理実績を有し、万全な管理を行うと評価される株式会社キョーエーメックとし、より高い技術レベルでの老朽化対策を進めます。※78 ページに詳しく記載しています。



キョーエーメックによる  
24 時間監視体制

## イ 当体育協会本部のサポート体制

当体育協会本部 4 部 6 課(平成 27 年 4 月現在)の部門とその職員が、金沢スポーツセンターをサポートします。私たちは、当館をはじめとする数多くの公共スポーツ・レクリエーション施設を管理運営しています。これらの施設の共通業務を効率的に行うため、当体育協会本部においてスケールメリットを活かした発注を行うなど、効率的かつ一元的に施設の管理運営を行っていきます。

### 地域スポーツ課(所管部署)

当体育協会本部において、スポーツセンターを所管する担当部署です。当課に、上級体育施設管理士などの体育施設管理のエキスパート職員を配置したうえで、当館の事業進捗状況を監督します。各種運営や技術的な相談窓口となり、当館の万全な運営を日常的にサポートします。

### 健康づくり事業課(指導部門)

主に施設職員のスポーツ・健康づくりに必要な指導技術の向上や、新規プログラムの技術レベル徹底を目的に、カリキュラムの作成、研修を行います。また、市民の健康づくりニーズに応じて幅広い主体と連携し、「姿勢改善」など新規プログラムを開発するなど市民の健康づくりに寄与しています。

## ウ 経理処理体制

当体育協会は、経理課によるダブルチェックや、外部の公認会計士、内部業務監査体制の確立により経理処理の精度を高めるとともに、独自の会計システムを導入し、当体育協会本部とオンラインでの会計処理を行い、経理業務の効率化と正確性を確保しています。

## （ア）施設の経理業務

売上金の管理においても、現金自動入金機を設置し、現金管理の安全性を高め、現金輸送時のリスク軽減を図るとともに、収入現金と支出現金とを完全に分離することで、明確な経理処理を推進します。施設内で取り扱う現金は、当体育協会経理規程や事務マニュアルに基づき、厳正かつ迅速に行います。



入金機による安全な管理

## （イ）適正な予算執行

予算執行にあたっては、金沢スポーツセンターの予算執行状況が正確・迅速にわかる公益法人会計システムを導入し、業務の効率化と正確性を確保しています。

中規模以上の修繕や提案事項として費用が計上されているものについては、スポーツセンターを所管する地域スポーツ課と連携し、金沢スポーツセンターの収支状況を確認しながら執行していきます。



会計システムのデータ活用

## エ お客様とスタッフの安全確保

### （ア）施設ご利用時の安全確保

私たちは、お客様に施設を安全・安心にご利用いただくために、スポーツセンター内の諸室には、運動前後の体調確認ができるチェック表を掲示するとともに、ロビーに健康チェックコーナーを設け、血圧計や体重計等を設置します。

※85ページに詳しく記載しています。

### （イ）職員や委託業者の業務上の安全確保

金沢スポーツセンターにおいて、災害や犯罪等が発生した場合は、危機管理室にて情報を一元化し、警備統括監の指揮のもと、迅速で的確な行動がとれるようにします。また、当館と当体育協会本部との間で連絡を取り合い、二次災害の抑止や対応等での遺漏がないようにします。

天井の修繕や樹木伐採の高所作業などの業務を委託する場合は、関連法令の遵守を徹底し、履行を監理します。また、災害発生時など一時的に委託先従業員がいる場合に備え、来館名簿にて外部のスタッフを把握し、安全管理を行います。